Hシリーズシリアル ドライバ

1	システム構成	3
2	接続機器の選択	9
3	通信設定例	10
4	設定項目	94
5	結線図	
6	使用可能デバイス	
7	デバイスコードとアドレスコード	
8	エラーメッセージ	

はじめに

本書は表示器と接続機器を接続する方法について説明します。 本書では接続方法を以下の順に説明します。



1 システム構成

シリーズ	CPU	リンク I/F	通信方式	設定例	結線図
	H-20, H-28, H-40, H-64	CPU ユニット 上のポート	RS232C	設定例 1 (10ページ)	結線図 1 (100 ページ)
	H-200(CPU-02H) ¹ H-250(CPU21-02H) ¹ H-252B(CPU22-02HB) ¹	CPU ユニット 上のポート	RS232C	設定例 1 (10ページ)	結線図 1 (100 ページ)
	H-252C(CPU22-02HC) ¹ ²	CPU ユニット 上のポート	RS232C	設定例 1 (10ページ)	結線図 1 (100 ページ)
	H-300(CPU-03Ha) ¹	CPU ユニット 上のポート	RS232C	設定例 1 (10ページ)	結線図 1 (100 ページ)
H (伝送制 御手順 1)	H-700(CPU-07Ha) ¹ H-2000(CPU-20Ha) ¹	COMM-H COMM-2H	RS232C	設定例 2 (12ページ)	結線図 1 (100 ページ)
	H-2002(CPU2-20H) ¹		RS422/485 (4 線式)	設定例 3 (14 ページ)	結線図 2 (102 ページ)
	H-302(CPU2-03H) ¹ H-702(CPU2-07H) ¹ H-4010(CPU3-40H) ¹	CPU ユニット 上のポート	RS232C	設定例 1 (10ページ)	結線図 1 (100 ページ)
		COMM-2H	RS232C	設定例 2 (12ページ)	結線図 1 (100 ページ)
	H-1002(CPU2-10H)		RS422/485 (4 線式)	設定例 3 (14 ページ)	結線図 2 (102 ページ)
	H-300(CPU-03Ha) H-700(CPU-07Ha)		RS232C	設定例 4 (16ページ)	結線図 1 (100 ページ)
H(伝送制 御手順 2)	H-2000(CPU-20Ha) H-302(CPU2-03H) H-702(CPU2-07H) H-2002(CPU2-20H) H-4010(CPU3-40H) H-1002(CPU2-10H)	COMM-2H	RS422/485 (4 線式)	設定例 5 (18 ページ)	結線図 2 (102 ページ)

シリーズ	CPU	リンク I/F	通信方式	設定例	結線図
	EH-150(EH-CPU104) EH-150(EH-CPU104A) EH-150(EH-CPU208) EH-150(EH-CPU208A) EH-150(EH-CPU308) EH-150(EH-CPU316)	CPU ユニット 上のシリアル ポート 1 CPU ユニット 上のシリアル ポート 2	RS232C	設定例 6 (20ページ)	結線図 3 (106 ページ)
			RS232C	設定例 6 (20ページ)	結線図 3 (106 ページ)
	EH-150(EH-CPU308A) EH-150(EH-CPU316A)	CPU ユニット 上のシリアル ポート 1	RS422/485 (4 線式)	設定例 7 (22 ページ)	結線図 4 (108 ページ)
EH-150	EH-150(EH-CPU448) EH-150(EH-CPU448A) EH-150(EH-CPU516)		RS422/485 (2 線式)	設定例 8 (24 ページ)	結線図 5 (112 ページ)
(伝送制御 手順1)	EH-150(EH-CPU548)	CPU ユニット 上のシリアル ポート 2	RS232C	設定例 6 (20ページ)	結線図 3 (106 ページ)
	EH-150(EH-CPU516) EH-150(EH-CPU548)	EH-SIO ユニッ ト上のポート 1 ³	RS232C	設定例 9 (26ページ)	結線図 12 (150 ページ)
		EH-SIO ユニッ ト上のポート 2 ³	RS232C ⁴	設定例 10 (28ページ)	結線図 12 (150 ページ)
			RS422/485 (4 線式) ⁴	設定例 11 (30ページ)	結線図 6 (119 ページ)
			RS422/485 (2 線式) ⁴	設定例 12 (32ページ)	結線図 7 (124 ページ)
	EH-150(EH-CPU104A) EH-150(EH-CPU208A)	CPU ユニット 上のシリアル ポート 1	RS232C	設定例 13 (34 ページ)	結線図 3 (106 ページ)
	EH-150(EH-CPU308A) EH-150(EH-CPU316A) EH-150(EH-CPU448) EH-150(EH-CPU448A) EH-150(EH-CPU516) EH-150(EH-CPU548)	CPU ユニット 上のシリアル ポート 1	RS232C	設定例 13 (34 ページ)	結線図 3 (106ページ)
			RS422/485 (4 線式)	設定例 14 (36ページ)	結線図 4 (108 ページ)
EH-150			RS422/485 (2 線式)	設定例 15 (38ページ)	結線図 5 (112 ページ)
(伝送制御 手順2)		EH-SIO ユニッ ト上のポート 1 ³	RS232C	設定例 16 (40 ページ)	結線図 12 (150 ページ)
	EH-150(EH-CPU516) EH-150(EH-CPU548)	EH-SIO ユニッ ト上のポート 2 ³	RS232C 4	設定例 17 (42ページ)	結線図 12 (150 ページ)
			RS422/485 (4 線式) ⁴	設定例 18 (44 ページ)	結線図 6 (119ページ)
			RS422/485 (2 線式) ⁴	設定例 19 (46ページ)	結線図 7 (124 ページ)

シリーズ	CPU	リンク I/F	通信方式	設定例	結線図
	MICRO-EH(EH-D10 5 MICRO-EH(EH-A14 5 MICRO-EH(EH-D14 5)	CPU ユニット 上のポート 1	RS232C	設定例 20 (48 ページ)	結線図 3 (106 ページ)
		CPU ユニット 上のポート 1	RS232C	設定例 20 (48 ページ)	結線図 3 (106 ページ)
	MICRO-EH(EH-D23DD) 5 MICRO-EH(EH-A28DD) 5	CPU ユニット	RS422/485 (4 線式)	設定例 21 (50ページ)	結線図 8 (131 ページ)
MICRO- EH	MICRO-EH(EH-D28□□□) ³	上のポート 2	RS422/485 (2 線式)	設定例 22 (52 ページ)	結線図 9 (135 ページ)
(仏区制御 手順1)		CPU ユニット 上のポート	RS232C	設定例 20 (48 ページ)	結線図 3 (106ページ)
	$\begin{array}{c} \text{MICRO-EH(EH-A64} \square) & 5 \\ \text{MICRO-EH(EH-D64} \square) & 5 \\ \text{MICRO-EH(EH-A40} \square) & 5 \end{array}$	EH-OB232 ⁶	RS232C	設定例 23 (54 ページ)	結線図 3 (106ページ)
	$\begin{array}{l} \text{MICRO-EH}(\text{EH-D40}\square) & 5 \\ \text{MICRO-EH}(\text{EH-A20}\square) & 5 \\ \text{MICRO-EH}(\text{EH-D20}\square) & 5 \end{array}$	ELL OD 485 7	RS422/485 (4 線式)	設定例 24 (56ページ)	結線図 10 (140ページ)
	Micko-En(En-D20DD)	ЕП-ОВ483	RS422/485 (2 線式)	設定例 25 (58 ページ)	結線図 11 (144 ページ)
	MICRO-EH(EH-D10 5 MICRO-EH(EH-A14 5 MICRO-EH(EH-D14 5	CPU ユニット 上のポート 1	RS232C	設定例 26 (60ページ)	結線図 3 (106 ページ)
	MICRO-EH(EH-A23 □ □) 5 MICRO-EH(EH-D23 □ □) 5 MICRO-EH(EH-A28 □ □) 5 MICRO-EH(EH-D28 □ □) 5	CPU ユニット 上のポート 1	RS232C	設定例 26 (60ページ)	結線図 3 (106 ページ)
		CPU ユニット 上のポート 2	RS422/485 (4 線式)	設定例 27 (62 ページ)	結線図 8 (131 ページ)
MICRO- EH (伝送制御			RS422/485 (2 線式)	設定例 28 (64 ページ)	結線図 9 (135 ページ)
(広区前面 手順2)		CPU ユニット 上のポート	RS232C	設定例 26 (60ページ)	結線図 3 (106ページ)
	$\begin{array}{c} \text{MICRO-EH}(\text{EH-A64}\square\square) & 5 \\ \text{MICRO-EH}(\text{EH-D64}\square\square) & 5 \\ \text{MICRO-EH}(\text{EH-A40}\square\square) & 5 \\ \text{MICRO-EH}(\text{EH-D40}\square\square) & 5 \\ \text{MICRO-EH}(\text{EH-A20}\square\square) & 5 \\ \text{MICRO-EH}(\text{EH-A20}\square\square)$	EH-OB232 ⁶	RS232C	設定例 29 (66 ページ)	結線図 3 (106ページ)
		7	RS422/485 (4 線式)	設定例 30 (68 ページ)	結線図 10 (140ページ)
	Micko-En(Er-D2000)	ЕН-ОВ485	RS422/485 (2 線式)	設定例 31 (70ページ)	結線図 11 (144 ページ)
	EH-WD10DR	CPU ユニット 上のシリアル ポート	RS232C	設定例 32 (72 ページ)	結線図 3 (106 ページ)
Web コン トローラ (伝送制御			RS232C	設定例 40 (88 ページ)	結線図 3 (106 ページ)
手順1お よび2)	EH-WA23DR	CPU ユニット 上のシリアル ポート	RS422/485 (4 線式)	設定例 41 (90ページ)	結線図 13 (151 ページ)
			RS422/485 (2 線式)	設定例 42 (92 ページ)	結線図 14 (156ページ)

シリーズ	CPU	リンク I/F	通信方式	設定例	結線図
	EHV-CPU128 EHV-CPU64 EHV-CPU32 EHV-CPU16	CPU ユニット 上のシリアル ポート	RS232C	設定例 33 (74 ページ)	結線図 3 (106 ページ)
			RS422/485 (4 線式)	設定例 34 (76 ページ)	結線図 4 (108 ページ)
			R422/S485 (2 線式)	設定例 35 (78 ページ)	結線図 5 (112 ページ)
EHV (伝送制御 手順1お よび2)		EH-SIO ユニッ ト上のポート 1 ³	RS232C	設定例 36 (80ページ)	結線図 12 (150 ページ)
			RS232C	設定例 37 (82 ページ)	結線図 12 (150 ページ)
		EH-SIO ユニッ ト上のポート 2 ³	RS422/485 (4 線式)	設定例 38 (84 ページ)	結線図 6 (119 ページ)
		_	RS422/485 (2 線式)	設定例 39 (86ページ)	結線図 7 (124 ページ)

1 CPU モジュールのペリフェラルポートへ接続してください。

- 2 CPU ユニット上のペリフェラルポート 2 が使用されている場合、8 ピンコネクタと D-sub15 ピンコネクタとの間 に㈱日立産機システム製 CNCOM-05 変換ケーブルが必要です。
- 3 EH-SIO のソフトウェアがバージョン 2.0 以降の場合は Procedure 1 を、バージョン 2.1 以降の場合は Procedure 2 をサポートしています。さらに、EH-CPU548 (Ver.E402 以降)/EH-CPU516 (Ver.E202 以降)のみ EH-SIO を使用できます。
- 4 Bit8 はポート 2 のインタフェース選択 (RS232C あるいは RS422/485) に使用します。
- 5 接続機器の機種番号"口"は各接続機器の仕様によって異なります。
- 6 通信ボード (RS232C) です。CPU バージョンが Ver.0101 以降の CPU で使用できます。
- 7 通信ボード (RS422/RS485)です。CPU バージョンが Ver.0100 以降の CPU で使用できます。

IPC の COM ポートについて

接続機器と IPC を接続する場合、使用できる COM ポートはシリーズと通信方式によって異なります。 詳細は IPC のマニュアルを参照してください。

使用可能ポート

S/11 - 7	使用可能ポート			
<u></u>	RS-232C	RS-422/485(4 線式)	RS-422/485(2 線式)	
PS-2000B	COM1 ¹ , COM2, COM3 ¹ , COM4	-	-	
PS-3450A、PS-3451A	COM1, COM2 ¹ ²	COM2 ¹ ²	COM2 ¹ ²	
PS-3650A、PS-3651A	COM1 ¹	-	-	
PS-3700A (Pentium®4-M) PS-3710A	COM1 ¹ , COM2 ¹ , COM3 ² , COM4	COM3 ²	COM3 ²	
PS-3711A	COM1 ¹ , COM2 ²	COM2 ²	COM2 ²	
PL-3000B	COM1 ¹ ² , COM2 ¹ , COM3, COM4	COM1 ¹ ²	COM1 ¹ ²	

1 RI/5V を切替えることができます。IPC の切替えスイッチで切替えてください。

2 通信方式をディップスイッチで設定する必要があります。使用する通信方式に合わせて、 以下のように設定してください。

ディップスイッチの設定:RS-232C

ディップスイッチ	設定値	設定内容
1	OFF ¹	予約(常時 OFF)
2	OFF	通信古式・BS 222C
3	OFF	地后刀式, KS-232C
4	OFF	SD(TXD)の出力モード:常に出力
5	OFF	SD(TXD) への終端抵抗挿入 (220Ω):なし
6	OFF	RD(RXD) への終端抵抗挿入 (220Ω):なし
7	OFF	SDA(TXA) と RDA(RXA) の短絡:しない
8	OFF	SDB(TXB)とRDB(RXB)の短絡:しない
9	OFF	PS(PTS) 白動制御王 – ド・無効
10	OFF	

1 PS-3450A、PS-3451A を使用する場合のみ設定値を ON にする必要があります。

ディップスイッチの設定:RS-422/485(4線式)

ディップスイッチ	設定値	設定内容
1	OFF	予約(常時 OFF)
2	ON	通信士士・BS 422/495
3	ON	地后刀式, KS-422/483
4	OFF	SD(TXD)の出力モード:常に出力
5	OFF	SD(TXD) への終端抵抗挿入 (220Ω):なし
6	OFF	RD(RXD) への終端抵抗挿入 (220Ω):なし
7	OFF	SDA(TXA) と RDA(RXA) の短絡:しない
8	OFF	SDB(TXB)とRDB(RXB)の短絡:しない
9	OFF	PS(PTS) 白動制御王 – ド・無効
10	OFF	

ディップスイッチの設定: RS-422/485(2線式)

ディップスイッチ	設定値	設定内容	
1	OFF	予約(常時 OFF)	
2	ON		
3	ON	通信力式 . KS-422/485	
4	OFF	SD(TXD)の出力モード:常に出力	
5	OFF	SD(TXD) への終端抵抗挿入 (220Ω):なし	
6	OFF	RD(RXD) への終端抵抗挿入 (220Ω):なし	
7	ON	SDA(TXA)とRDA(RXA)の短絡:する	
8	ON	SDB(TXB)とRDB(RXB)の短絡:する	
9	ON	DS/DTS) 白動制御王 _ ピ・右袖	
10	ON	K3(K13) 白動前御モート:有効	

2 接続機器の選択

表示器と接続する接続機器を選択します。

ð	ちょうしょう	トファイルの新規作	乍成	×
[接続機器			1
	メーカー	(株)日立産機システ	Д 🔹	
	シリーズ	H シリーズ SIO	•	
	🗆 ୬ステ	ムエリアを使用する	この接続機器のマニュアルを見る	
[接続方法			1
	ポート	COM1	•	
l			推発技会フラッフル人	
		戻る	通信の詳細設定	

設定項目	設定内容
メーカー	接続する接続機器のメーカーを選択します。「㈱日立産機システム」を選択しま す。
シリーズ	接続する接続機器の機種(シリーズ)と接続方法を選択します。「Hシリーズ SIO」を選択します。 「Hシリーズ SIO」で接続できる接続機器はシステム構成で確認してください。 ^{②デ} システム構成(3ページ)
システムエリアを使田	表示器のシステムデータエリアと接続機器のデバイス(メモリ)を同期させる場合にチェックします。同期させた場合、接続機器のラダープログラムで表示器の 表示を切り替えたりウィンドウを表示させることができます。 参照:GP-Pro EX リファレンスマニュアル「付録 1.4LS エリア(ダイレクトア クセス方式専用)」
する	この設定は GP-Pro EX、または表示器のオフラインモードでも設定できます。 参照 : GP-Pro EX リファレンスマニュアル「5.17.6[システム設定ウィンドウ] の設定ガイド [本体設定]の設定ガイド システムエリア設定」
	参照:保守 / トラブル解決ガイド「2.15.1 表示器共通」 [本体設定]の設定ガ イド システムエリア設定
ポート	接続機器と接続する表示器のポートを選択します。

3 通信設定例

(株) デジタルが推奨する表示器と接続機器の通信設定例を示します。

```
3.1 設定例 1
```

GP-Pro EX の設定

通信設定

接続機器1				
概要				接続機器変更
メーカー (株)日3	な産機システム	 シリーズ 旧	シリーズ SIO	ポート COM1
文字列データモー	・ド <u>1 変更</u>			
通信設定				
通信方式	• RS232C	C RS422/485(2#	泉式) ──── RS422/4	85(4線式)
通信速度	19200	•		
データ長	• 7	0.8		
パリティ	○ なし	● 偶数	○ 奇数	
ストップビット	● 1	O 2		
フロー制御	○ なし	 ER(DTR/CTS) 	C XON/XOFF	
タイムアウト	3 🔹	(sec)		
リトライ	2 +			
送信ウェイト	0 🔅	[ms]		
伝送制御手順	伝送制御手順	1 💌		
RI / VCC	⊙ RI	O VCC		
RS232Cの場合 にするかを選択	、9番ピンをRI(入力)(できます。デジタル製E	こするか VCC (5 V電源 (S232C アイソルーショ)	(供給) ンフニッ	
ドを使用する場	合は、VCCを選択して	ください。		初期設定
機器別設定				
接続可能台数	16台 📷	=2,		
No. 機器名	1	設定 「「」シリーズ	=H シリーズ	

設定画面を表示するには、[接続機器設定]の[機器設定]から設定したい接続機器の mm([設定]) をクリックします。

💣 個別機器設定	×
PLC1	
シリーズ Hシリーズ シリーズを変更した場合は、すでに使用 るアドレスを再確認してください。	. ຮຳເບ
号機 No. 🛛	÷
初期	設定
OK(Q) +++>t	211

接続機器の設定(CPU ユニット上のポート: H-4010 のみ)

通信設定は CPU ユニットのスイッチで行います。通信設定を行った後は、接続機器の電源を再投入 して設定内容を有効にします。詳細は接続機器のマニュアルを参照してください。

モード設定スイッチ

• DIPSW1

ディップスイッチ	設定	内容
SW03	OFF	ポート 1 の伝送速度:19,200 bps
SW04	OFF	ポート 2 の伝送速度:19,200 bps

МЕМО

• その他の伝送速度の設定は以下のとおりです。

ディップスイッチ	設定	内容
SW03	ON	ポート 1 の伝送速度: 38,400 bps
SW04	ON	ポート2の伝送速度:38,400 bps

3.2 設定例 2

GP-Pro EX の設定

通信設定

接続機器	器1			
概要				接続機器変更
بلا	ーカー (株)日立産橋	暖システム	シリーズ H シリーズ SIO	ポート COM1
文	字列データモード 「	1 <u>変更</u>		
通信設	定			
通	信方式	• RS232C	○ RS422/485(2線式) ○ RS422/485(4線式)	
通	信速度	19200	•	
デ	一夕長	• 7	C 8	
18!	リティ	○ なし	 ・ 偶数 ○ 奇数 	
지	トップビット	● 1	C 2	
70	口一制御	○ なし	ER(DTR/CTS) C XON/XOFF	
タ1	ተፊዎታኑ	3 ÷ (s	ec)	
ባት	ŀ∋1	2 📫		
送	信ウェイト	0 🕂 (m	s)	
伝	送制御手順	伝送制御手順1		
RI		• RI	C VCC	
F	RS232Cの場合、9番 にするかを選択できま	ピンをRI(入力)に オーデジタル制度S	するかVCC(5)/電源供給) 2320アインリーションコニッ	
H	トを使用する場合は、	、VCCを選択してく	ださい。 初期設定	
機器別	設定			
接	続可能台数 16台	111		
X	No. 機器名 1 PLC1			

設定画面を表示するには、[接続機器設定]の[機器設定]から設定したい接続機器の 🏬([設定]) をクリックします。

🏄 個別機制	芬設定	×
PLC1		
シリーズ シリーズを変更 るアドレスを再	H シリーズ 夏した場合は、す 「確認してください。	▼ でに使用されてい
号機 No.	р ок <u>©</u>	一 初期設定 キャンセル

接続機器の設定(COMM-H、COMM-2H)

通信設定はリンク I/F ユニットのスイッチで設定を行います。通信設定を行った後は、接続機器の電源を再投入して設定内容を有効にします。詳細は接続機器のマニュアルを参照してください。

通信設定スイッチ

ディップスイッチ	設定	内容
01	OFF	ビット長:7ビット
02	ON	
03	ON	ボーレート伝送速度:19,200 bps
04	ON	
05	ON	パリティ有/無:有
06	ON	パリティ偶/奇:偶数
07	OFF	ストップビット長:1ビット
08	ON	サムチェック有/無:有

局番設定ロータリスイッチ

ロータリスイッチ	設定	内容
× 10	0	接続機器の局番(+の位)
× 1	0	接続機器の局番(- の位)

モード設定ロータリスイッチ

ロータリスイッチ	設定	内容
MODE	2	伝送手順:伝送手順1

3.3 設定例 3

GP-Pro EX の設定

通信設定

接続	機器1		
概要	Ē		<u>接続機器変更</u>
	メーカー (株)日立産	機システム	シリーズ H シリーズ SIO ポート COM1
	文字列データモード	1 変更	
通信	設定		
	通信方式	C RS232C	○ RS422/485(2線式) ● RS422/485(4線式)
	通信速度	19200	
	データ長	● 7	C 8
	パリティ	○ なし	 ● 偶数 ○ 奇数
	ストップビット	● 1	© 2
	フロー制御	○ なし	ER(DTR/CTS) C XON/XOFF
	タイムアウト	3 📫 (s	ec)
	リトライ	2 📫	
	送信ウェイト	0 📫 (r	ns]
	伝送制御手順	伝送制御手順1	
	RI / VCC	© RI	C VOC
	RS232Cの場合、9i にするかを選択でき	番ピンをRI(入力)に ます。デジタル製R	するかVCC6V電源供給) \$232Gアイソレージョンフェッ
	ドを使用する場合は	t、Vooを選択して	(ださい。 初期設定
機器	制設定		
	接続可能台数 16台	11	24¢
	1 PLC1		

設定画面を表示するには、[接続機器設定]の[機器設定]から設定したい接続機器の 🏬([設定]) をクリックします。

💰 個別機	导設定	×
PLC1		
シリーズ シリーズを変更 るアドレスを再 号様 No	H シリーズ 回した場合は、す 確認してください、 n	▼ でに使用されてい 、
	OK(<u>Q</u>)	初期設定 キャンセル

接続機器の設定(COMM-H、COMM-2H)

通信設定はリンク I/F ユニットのスイッチで設定を行います。通信設定を行った後は、接続機器の電源を再投入して設定内容を有効にします。詳細は接続機器のマニュアルを参照してください。

通信設定スイッチ

ディップスイッチ	設定	内容
01	OFF	ビット長:7ビット
02	ON	
03	ON	ボーレート伝送速度:19,200 bps
04	ON	
05	ON	パリティ有/無:有
06	ON	パリティ偶/奇:偶数
07	OFF	ストップビット長:1ビット
08	ON	サムチェック有/無:有

局番設定ロータリスイッチ

ロータリスイッチ	設定	内容
× 10	0	接続機器の局番(+の位)
× 1	0	接続機器の局番(- の位)

モード設定ロータリスイッチ

ロータリスイッチ	設定	内容
MODE	2	伝送手順:伝送手順1

3.4 設定例 4

GP-Pro EX の設定

通信設定

接続機器1	
概要	接続機器変更
メーカー (株)日立産機システム ジリーズ H シリーズ SIO	ポート COM1
文字列データモード 1 変更	
通信設定	
通信方式 ④ RS232C 〇 RS422/485(2線式) 〇 RS422/485(4線式)	
通信速度 19200 🔻	
データ長	
パリティ 🔿 なし 💿 偶数 🔿 奇数	
ストップビット 🔍 1 🔍 2	
フロー制御 O なし O ER(DTR/CTS) O XON/XOFF	
タイムアウト 3 🚔 (sec)	
JF54 2 ₹	
送信ウェイト 0 📑 (ms)	
伝送制御手順 伝送制御手順2 ▼	
RI / VCC © RI © VCC	
RS232Cの場合、9番ピンをRI(入力)にするかVCC(5V電源供給) にするかち避視がきます。デジタル制度222Cアイルレーシャンコニッ	
トを使用する場合は、VCCを選択してください。 初期設定	
接続可能台数 16台 📊	
No. 機器名 設定	

設定画面を表示するには、[接続機器設定]の[機器設定]から設定したい接続機器の 🏬([設定]) をクリックします。

🏄 個別機器	設定	×
PLC1		
シリーズ シリーズを変更 るアドレスを再	H シリーズ [した場合は、す] 確認してください。	▼ でに使用されてい ?
号機 No.	p	:
		初期設定
	OK(<u>O</u>)	キャンセル

接続機器の設定(COMM-2H)

通信設定はリンク I/F ユニットのスイッチで設定を行います。通信設定を行った後は、接続機器の電源を再投入して設定内容を有効にします。詳細は接続機器のマニュアルを参照してください。

通信設定スイッチ

ディップスイッチ	設定	内容
01	OFF	ビット長:7ビット
02	ON	
03	ON	ボーレート伝送速度:19,200 bps
04	ON	
05	ON	パリティ有/無:有
06	ON	パリティ偶/奇:偶数
07	OFF	ストップビット長:1ビット
08	ON	サムチェック有/無:有

局番設定ロータリスイッチ

ロータリスイッチ	設定	内容
× 10	0	接続機器の局番(+の位)
× 1	0	接続機器の局番(- の位)

モード設定ロータリスイッチ

ロータリスイッチ	設定	内容
MODE	9	伝送手順:伝送手順2

3.5 設定例 5

GP-Pro EX の設定

通信設定

接続機	器1		
概要			接続機器変更
k	ーカー (株)日立産根	緩システム	シリーズ H シリーズ SIO ポート COM1
文	♡字列データモード	1 <u>変更</u>	
通信影	定		
j	植方式	C RS232C	〇 RS422/485(2線式) • RS422/485(4線式)
j	通信速度	19200	
ŕ	一夕長	• 7	C 8
19	(リティ	○ なし	 ● 偶数 ○ 奇数
ス	トップビット	⊙ 1	© 2
7	口一制御	○ なし	ER(DTR/CTS) C XON/XOFF
タ	イムアウト	3 📑 (s	ec)
IJ	トライ	2 📫	
边	き信ウェイト	0 📑 (n	ns)
ſź	送制御手順	伝送制御手順2	T
R	I / VCC	© RI	C VCC
	RS232Cの場合、9種 にするかを選択できま	ピンをRI(入力)に は、デジカル制度	するかVCC(5V電源供給) 2320 アイソルージョンコニッ
	下を使用する場合は	、 VOCを選択して	(ださい) 初期設定
機器別			
扬	統可能台数 16台	100	
5	No. 機器名		

設定画面を表示するには、[接続機器設定]の[機器設定]から設定したい接続機器の 🏬([設定]) をクリックします。

🏄 個別機都	导設定	×
PLC1		
シリーズ シリーズを変更 るアドレスを再 号機 No	H シリーズ 回した場合は、す 確認してください。 D	▼ でに使用されてい
	ок(<u>о</u>)	初期設定 キャンセル

接続機器の設定(COMM-2H)

通信設定はリンク I/F ユニットのスイッチで設定を行います。通信設定を行った後は、接続機器の電源を再投入して設定内容を有効にします。詳細は接続機器のマニュアルを参照してください。

通信設定スイッチ

ディップスイッチ	設定	内容
01	OFF	ビット長:7ビット
02	ON	
03	ON	ボーレート伝送速度:19,200 bps
04	ON	
05	ON	パリティ有/無:有
06	ON	パリティ偶/奇:偶数
07	OFF	ストップビット長:1ビット
08	ON	サムチェック有 / 無: 有

局番設定ロータリスイッチ

ロータリスイッチ	設定	内容
× 10	0	接続機器の局番(+の位)
× 1	0	接続機器の局番(- の位)

モード設定ロータリスイッチ

ロータリスイッチ	設定	内容
MODE	9	伝送手順:伝送手順2

3.6 設定例 6

GP-Pro EX の設定

通信設定

接続機器1			
概要			接続機器変更
メーカー (株)日立産	機システム	シリーズ H シリーズ SIO	ポート COM1
文字列データモード	1 <u>変更</u>		
通信設定			
通信方式	• R\$232C	○ RS422/485(2線式) ○ RS422/485(4線式)	
通信速度	19200		
データ長	• 7	0.8	
パリティ	○ なし	 • 偶数 ○ 奇数 	
ストップビット	● 1	0 2	
フロー制御	○ なし	ER(DTR/CTS) C XON/XOFF	
タイムアウト	3 📫 (s	ec)	
リトライ	2		
送信ウェイト	0 🕂 (r	ns)	
伝送制御手順	伝送制御手順1	×	
RI / VCC	• RI	O VCC	
RS232Cの場合、94 にするかた避視でき	番ピンをRI(入力)に ます。デジタル制度	するかVCC(5V電源供給)	
トを使用する場合は	、VCCを選択して	(ださい。 初期設定	
機器別設定			
接続可能台数 16台	111		
No. 機器名			

設定画面を表示するには、[接続機器設定]の[機器設定]から設定したい接続機器の 🌇 ([設定]) をクリックします。

💰 個別機	器設定	×
PLC1		
シリーズ シリーズを変〕 るアドレスを利	H シリーズ 更した場合は、す 耳確認してくだざい	▼ でに使用されてい 。
号機 No.	p	÷
		初期設定
	OK (<u>O</u>)	キャンセル

接続機器の設定(CPU ユニット上のシリアルポート)

通信設定は CPU ユニットのスイッチで設定を行います。通信方式はラダーソフト(LADDER EDI-TOR for Windows)でアドレス WRF037 に 8000(H)を入力することで RS232C(伝送制御手順1)に設 定されます。通信設定を行った後は、接続機器の電源を再投入して設定内容を有効にします。詳細は 接続機器のマニュアルを参照してください。

モード設定スイッチ

ディップスイッチ	設定	内容	
SW03	ON	 ポート1の伝送速度・10 200 hpg	
SW04	OFF	小一下「の 伝送迷燈.19,200 bps	
SW05	ON	ポート1の動作:専用ポート	
SW06	OFF	ポート 2 の伝送速度 ¹ :4,800 bps または 19,200 bps	

1 ポート 2 の伝送速度を 19,200 bps または 38,400 bps に設定する場合はポート切替スイッチを High(ON) にしてください。

ポート2の伝送速度はSW06とPHLスイッチで設定されます。

ポート切替スイッチ

PHL スイッチ	設定	内容
PHL スイッチ	ON	ポート 2 の動作

MEMO

・切替スイッチが ON の場合、PHL 信号が High(ON) になります。

• その他の伝送速度の設定は以下のとおりです。

<ポート1 >

SW03	SW04	SW05	伝送速度
ON	ON	ON	4,800 bps
OFF	ON	ON	9,600 bps
OFF	OFF	ON	38,400 bps

<ポート2 >

SW06	PHL	伝送速度
OFF	OFF	4,800 bps
ON	OFF	9,600 bps
ON	ON	38,400 bps

3.7 設定例 7

GP-Pro EX の設定

通信設定

接続	機器1			
概	Ē			接続機器変更
	メーカー (株)日立産	機システム	シリーズ H シリーズ SIO	ポート COM1
	文字列データモード	1 変更		
通信	記定			
	通信方式	C RS232C	○ RS422/485(2線式) ◎ RS422/485(4線式)	
	通信速度	19200	•	
	データ長	• 7	O 8	
	パリティ	○ なし	 ・ 偶数 ○ 奇数 	
	ストップビット	• 1	O 2	
	フロー制御	○ なし	ER(DTR/CTS) C XON/XOFF	
	タイムアウト	3 📫 (;	sec)	
	リトライ	2 📫		
	送信ウェイト	0 🔅 (ns)	
	伝送制御手順	伝送制御手順1	×	
	RI / VCC	© RI	C VCC	
	RS232Cの場合、94 にするかを選択でき	番ピンをRI(入力)に ます。デジタル製R	するか VCC(5)(電源供給) 5232Cアイソレーションフェッ	
	下を使用する場合は	L. VOCを選択して	ください。初期設定	
機器	翻設定			
	接続可能台数 16台	110		
	NO. 1版研名		=	

設定画面を表示するには、[接続機器設定]の[機器設定]から設定したい接続機器の 🏬([設定]) をクリックします。

💰 個別機	器設定	×
PLC1		
シリーズ シリーズを変更 るアドレスを再 号機 No	H シリーズ 更した場合は、す 確認してください。 D	▼ でに使用されてい
		初期設定
	OK(<u>O</u>)	キャンセル

接続機器の設定(CPU ユニット上のシリアルポート)

通信設定は CPU ユニットのスイッチで設定を行います。通信方式はラダーソフト (LADDER EDI-TOR for Windows) でアドレス WRF037 に A100(H) ¹を入力することで RS422/RS485 (伝送制御手順 1)に設定されます。通信設定を行った後は、接続機器の電源を再投入して設定内容を有効にします。 詳細は接続機器のマニュアルを参照してください。

1 終端抵抗を有効にする場合には、B100(H)を入力してください。また、A100(またはB100)の 下位2桁には、表示器側で設定した号機 No. を入力してください。

τ-	ド設定スイ	ッチ
----	-------	----

ディップスイッチ	設定	内容
SW03	ON	 ポート1の伝送速度・19,200 bps
SW04	OFF	が一下下の伝送速度:19,200 bps
SW05	ON	ポート1の動作:専用ポート

МЕМО

• その他の伝送速度の設定は以下のとおりです。

SW03	SW04	SW05	伝送速度
ON	ON	ON	4,800 bps
OFF	ON	ON	9,600 bps
OFF	OFF	ON	38,400 bps

3.8 設定例 8

GP-Pro EX の設定

通信設定

接続	機器1		
概要	Ē		· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·
	メーカー (株)日立産権	機システム	シリーズ H シリーズ SIO ポート COM1
	文字列データモード	1 <u>変更</u>	
通信	設定		
	通信方式	O RS232C	● RS422/485(2線式) ○ RS422/485(4線式)
	通信速度	19200	T
	データ長	• 7	C 8
	パリティ	○ なし	● 偶数 C 奇数
	ストップビット	● 1	© 2
	フロー制御	○ なし	ER(DTR/CTS) C XON/XOFF
	タイムアウト	3 🔹 (s	ec)
	リトライ	2 .	
	送信ウェイト	0 📫 (r	ns)
	伝送制御手順	伝送制御手順1	
	RI / VCC	© RI	C VCC
	RS232Cの場合、9番 にするかを選択でき	番ピンをRI(入力)に ます。 デジタル製成	するかVCC6V電源供給) 3232Cアイソレーションフェッ
	ドを使用する場合は	、VOCを選択して	(ださい。
機器	别設定		
	接続可能台数 16台	100	
	No. 1版研究 1 PLC1		apue 「シリーズ=H シリーズ,号機 No.=0

設定画面を表示するには、[接続機器設定]の[機器設定]から設定したい接続機器の 🌇 ([設定]) をクリックします。

💰 個別機	器設定	×
PLC1		
シリーズ シリーズを変更 るアドレスを再 号機 No	H シリーズ 更した場合は、す 確認してください。 D	▼ でに使用されてい
		初期設定
	OK(<u>O</u>)	キャンセル

接続機器の設定(CPU ユニット上のシリアルポート)

通信設定は CPU ユニットのスイッチで設定を行います。通信方式はラダーソフト (LADDER EDI-TOR for Windows) でアドレス WRF037 に A200(H) ¹を入力することで RS422/RS485 (伝送制御手順 1)に設定されます。通信設定を行った後は、接続機器の電源を再投入して設定内容を有効にします。 詳細は接続機器のマニュアルを参照してください。

1 終端抵抗を有効にする場合には、B200(H)を入力してください。また、A200(またはB200)の 下位2桁には、表示器側で設定した号機 No. を入力してください。

モー	ド設定スイ	ッチ
----	-------	----

ディップスイッチ	設定	内容	
SW03	ON	 ポート1の伝送速度・19,200 bps	
SW04	OFF	小一下107公还底 19,200 ops	
SW05	ON	ポート1の動作:専用ポート	

МЕМО

• その他の伝送速度の設定は以下のとおりです。

SW03	SW04	SW05	伝送速度
ON	ON	ON	4,800 bps
OFF	ON	ON	9,600 bps
OFF	OFF	ON	38,400 bps

3.9 設定例 9

GP-Pro EX の設定

通信設定

接続機器1			
概要			接続機器変更
メーカー (株)日立産	機システム	シリーズ H シリーズ SIO	ポート COM1
文字列データモード	1 <u>変更</u>		
通信設定			
通信方式	• R\$232C	○ RS422/485(2線式) ○ RS422/485(4線式)	
通信速度	19200		
データ長	• 7	0.8	
パリティ	○ なし	 • 偶数 ○ 奇数 	
ストップビット	● 1	0 2	
フロー制御	○ なし	ER(DTR/CTS) C XON/XOFF	
タイムアウト	3 ÷ (s	ec)	
リトライ	2		
送信ウェイト	0 🕂 (r	ns)	
伝送制御手順	伝送制御手順1	×	
RI / VCC	• RI	O VCC	
RS232Cの場合、94 にするかた避視でき	番ピンをRI(入力)に ます。デジタル制度	するかVCC(5V電源供給)	
トを使用する場合は	、VCCを選択して	(ださい。 初期設定	
機器別設定			
接続可能台数 16台	111		
No. 機器名			

設定画面を表示するには、[接続機器設定]の[機器設定]から設定したい接続機器の 🏬([設定]) をクリックします。

💰 個別機器	設定	×
PLC1		
シリーズ シリーズを変更 るアドレスを再	H シリーズ [した場合は、す 確認してください	▼ でに使用されてい 。
号機 No.	p	÷
		初期設定
	OK(<u>O</u>)	キャンセル

接続機器の設定(EH-SIO)

通信設定は EH-SIO のスイッチで設定を行います。設定後、I/O 割付を行い、接続機器の電源を再投入 して設定内容を有効にします。I/O 割付はラダーソフト(LADDER EDITOR for Windows)で行いま す。

詳細は接続機器のマニュアルを参照してください。

手順

1. EH-SIO のディップスイッチで通信設定を行います。

ディップスイッチ	設定	内容	
01	OFF		
02	ON	通信速度:19,200 bps	
03	ON	その他の伝送速度の設定は、接続機器のマニュアルを参照してください。	
04	ON		
05	OFF	伝送文字構成設定 データ長:7ビット	
06	ON	ストップビット:1 ビット	
07	OFF	パリティの種類:偶数	
08	OFF	常時 OFF	

2. 初期設定を行うラダープログラムが必要です。詳細は接続機器のマニュアルを参照してください。

3.10 設定例 10

GP-Pro EX の設定

通信設定

接続機器1				
概要				接続機器変更
メーカー (体	お日立産機システム	シリーズ 田 シリーズ	SIO	ポート COM1
文字列デー	タモード 1 変更			,
通信設定				
通信款准	BS232C	〇 BS422/485(2線式)	○ BS422/485(4線式)	
通信速度	19200	•	(110 ILL 100(11334)	
データ長	• 7	0.8		
パリティ	。 C なし	 ● 偶数 	奇数	
ストップドット	• • 1	0 2	-1.27	
フロー制御	。 。 なし	EB(DTB/CTS)		
ショー ポイルアウト	3 -	(sec)		
기도/기	2 -	(360)		
送信ウェイト		(me)		
伝送制御手	- 「「」 「」 「」 「」 「」 「」 「」 「」 「」 「」 「」 「」 「」	i1 💌		
RI 7 VCC BS232C/	(● Ri)場合、9番ピ\/をRI(入力)(○ VCC にするかVCC(5V電源供給)		
にするかを	選択できます。デジタル製F お場合は、VCCを選択して	RS232Cアイソレーションユニッ てください。	57#0=2.00	
機器別設定 接続可能を	(数 16台) 📑			
No. 推	器名	設定		
👗 1 P	LC1	■ <u>-</u> シリーズ=H シリー	-ズ	

設定画面を表示するには、[接続機器設定]の[機器設定]から設定したい接続機器の 🏬([設定]) をクリックします。

💰 個別機器	設定	×
PLC1		
シリーズ シリーズを変更 るアドレスを再	H シリーズ 〔した場合は、す 確認してください	▼ でに使用されてい '°
号機 No.	p	÷
		初期設定
	OK(<u>O</u>)	キャンセル

接続機器の設定(EH-SIO)

通信設定は EH-SIO のスイッチで設定を行います。設定後、I/O 割付を行い、接続機器の電源を再投入 して設定内容を有効にします。I/O 割付はラダーソフト(LADDER EDITOR for Windows)で行いま す。

詳細は接続機器のマニュアルを参照してください。

手順

1. EH-SIO のディップスイッチで通信設定を行います。

ディップスイッチ	設定	内容	
01	OFF		
02	ON	通信速度:19,200 bps	
03	ON	その他の伝送速度の設定は、接続機器のマニュアルを参照してください。	
04	ON		
05	OFF	伝送文字構成設定 データ長:7ビット	
06	ON	ストップビット:1 ビット	
07	OFF	パリティの種類:偶数	
08	OFF	インターフェイス選択: RS232C	

通信設定スイッチ2(ポート2用)

2. 初期設定を行うラダープログラムが必要です。詳細は接続機器のマニュアルを参照してください。

3.11 設定例 11

GP-Pro EX の設定

通信設定

接続	機器1			
概	Ē			接続機器変更
	メーカー (株)日立産	機システム	シリーズ H シリーズ SIO	ポート COM1
	文字列データモード	1 変更		
通信	記定			
	通信方式	C RS232C	○ RS422/485(2線式) ◎ RS422/485(4線式)	
	通信速度	19200	•	
	データ長	• 7	O 8	
	パリティ	○ なし	 ・ 偶数 ○ 奇数 	
	ストップビット	• 1	O 2	
	フロー制御	○ なし	ER(DTR/CTS) C XON/XOFF	
	タイムアウト	3 📫 (;	sec)	
	リトライ	2 📫		
	送信ウェイト	0 🔅 (ns)	
	伝送制御手順	伝送制御手順1	×	
	RI / VCC	© RI	C VCC	
	RS232Cの場合、94 にするかを選択でき	番ピンをRI(入力)に ます。デジタル製R	するか VCC(5)(電源供給) 5232Cアイソレーションフェッ	
	下を使用する場合は	L. VOCを選択して	ください。初期設定	
機器	翻設定			
	接続可能台数 16台	110		
	NO. 1版研名		=	

設定画面を表示するには、[接続機器設定]の[機器設定]から設定したい接続機器の 🏬([設定]) をクリックします。

🏄 個別機都	导設定	×
PLC1		
シリーズ シリーズを変更 るアドレスを再 号機 No.	H シリーズ した場合は、すでは 確認してください。 D	▼ :使用されてい
	, ОК <u>(0)</u> *	初期設定

接続機器の設定(EH-SIO)

通信設定は EH-SIO のスイッチで設定を行います。設定後、I/O 割付を行い、接続機器の電源を再投入 して設定内容を有効にします。I/O 割付はラダーソフト(LADDER EDITOR for Windows)で行いま す。

詳細は接続機器のマニュアルを参照してください。

手順

1. EH-SIO のディップスイッチで通信設定を行います。

ディップスイッチ	設定	内容
01	OFF	
02	ON	通信速度:19,200 bps
03	ON	その他の伝送速度の設定は、接続機器のマニュアルを参照してください。
04	ON	
05	OFF	伝送文字構成設定 データ長:7ビット
06	ON	ストップビット:1 ビット
07	OFF	パリティの種類:偶数
08	ON	インターフェイス選択:RS422/RS485

通信設定スイッチ2(ポート2用)

2. 初期設定を行うラダープログラムが必要です。詳細は接続機器のマニュアルを参照してください。

3.12 設定例 12

GP-Pro EX の設定

通信設定

接続機器1			
概要			接続機器変更
メーカ	- (株)日立産権	緩システム	シリーズ H シリーズ SIO ポート COM1
文字列	Ŋデータモード │	1 <u>変更</u>	
通信設定			
通信力	方式	C RS232C	● RS422/485(2線式) ● RS422/485(4線式)
通信)	速度	19200	
データ	長	• 7	C 8
パリテ・	ŕ	○ なし	 ● 偶数 ○ 奇数
ストッ	プビット	⊙ 1	© 2
70-	制御	○ なし	ER(DTR/CTS) C XON/XOFF
タイム	アウト	3 ÷ (s	ec)
リトライ	ſ	2 📫	
送信	לאדל	0 📑 (n	ns)
伝送制	訓御手順	伝送制御手順1	×
RI / Y	/00	© RI	O VOC
RS2 (Crat	32Cの場合、9番 るかを選択でき	キビンをRI(入力)に ま、デジルに観察	するかVCC5V電源供給) 32320アイバルージョンフェッ
ĥē	使用する場合は	、VCCを選択して	(ださい。 初期設定
機器別設定	έ Ξ		
接続	可能台数 16台	100	ile:
l 👗	No. 機器名 1 PLC1		設定

設定画面を表示するには、[接続機器設定]の[機器設定]から設定したい接続機器の 🏬([設定]) をクリックします。

💰 個別機都	导設定	×
PLC1		
シリーズ シリーズを変更 るアドレスを再	H シリーズ 「した場合は、す 確認してください	▼ でに使用されてい '。
写1摄 NO.	ок@	

接続機器の設定(EH-SIO)

通信設定は EH-SIO のスイッチで設定を行います。設定後、I/O 割付を行い、接続機器の電源を再投入 して設定内容を有効にします。I/O 割付はラダーソフト(LADDER EDITOR for Windows)で行いま す。

詳細は接続機器のマニュアルを参照してください。

手順

1. EH-SIO のディップスイッチで通信設定を行います。

ディップスイッチ	設定	内容
01	OFF	
02	ON	通信速度:19,200 bps
03	ON	その他の伝送速度の設定は、接続機器のマニュアルを参照してください。
04	ON	
05	OFF	伝送文字構成設定 データ長:7ビット
06	ON	ストップビット:1 ビット
07	OFF	パリティの種類:偶数
08	ON	インターフェイス選択:RS422/RS485

通信設定スイッチ2(ポート2用)

2. 初期設定を行うラダープログラムが必要です。詳細は接続機器のマニュアルを参照してください。

3.13 設定例 13

GP-Pro EX の設定

通信設定

接続機器1			
概要			接続機器変更
メーカー (株)日立産	機システム	シリーズ H シリーズ SIO	ポート COM1
文字列データモード	1 <u>変更</u>		
通信設定			
通信方式	• R\$232C	○ RS422/485(2線式) ○ RS422/485(4線式)	
通信速度	19200		
データ長	• 7	08	
パリティ	○ なし	 • 偶数 ○ 奇数 	
ストップビット	● 1	0 2	
フロー制御	○ なし	ER(DTR/CTS) C XON/XOFF	
タイムアウト	3 📫 (s	ec)	
リトライ	2 ÷		
送信ウェイト	0 🔅 (n	ns)	
伝送制御手順	伝送制御手順2	•	
RI / VCC	• RI	C VCC	
RS232Cの場合、94 にするかた避視でき	番ピンをRI(入力)に ます。デジタル制度	するかVCC(5V電源供給)	
トを使用する場合は	、VCCを選択して	(ださい。 初期設定	
機器別設定			
接続可能台数 16台	111		
No. 機器名			

設定画面を表示するには、[接続機器設定]の[機器設定]から設定したい接続機器の 🏬([設定]) をクリックします。

💰 個別機	嚣 設定	×
PLC1		
シリーズ シリーズを変更 るアドレスを再	日シリーズ 回した場合は、す 確認してください	▼ でに使用されてい '。
号機 No.	p	÷
		初期設定
	0K(<u>0</u>)	キャンセル

接続機器の設定(CPU ユニット上のシリアルポート)

通信設定は CPU ユニットのスイッチで設定を行います。通信方式はラダーソフト(LADDER EDI-TOR for Windows)でアドレス WRF037 に C000(H)を入力することで RS232C(伝送制御手順2)に設 定されます。通信設定を行った後は、接続機器の電源を再投入して設定内容を有効にします。詳細は 接続機器のマニュアルを参照してください。

モード設定スイッチ

ディップスイッチ	設定	内容
SW03	ON	ポート 1 の 伝送 速度 ・ 10 200 hpc
SW04	OFF	小一下TV74还还反.19,200 0ps
SW05	ON	ポート1の動作:専用ポート

МЕМО

• その他の伝送速度の設定は以下のとおりです。

SW03	SW04	SW05	伝送速度
ON	ON	ON	4,800 bps
OFF	ON	ON	9,600 bps
OFF	OFF	ON	38,400 bps

3.14 設定例 14

GP-Pro EX の設定

通信設定

接続機器1					
概要	Ę			接続機器変更	
	メーカー (株)日立産	機システム	シリーズ H シリーズ SIO ポ		
	文字列データモード	1 変更			
通信	設定				
	通信方式	C RS232C	○ RS422/485(2線式) ● RS422/485(4線式)		
	通信速度	19200	•		
	データ長	• 7	08		
	パリティ	○ なし	 ・ 偶数 ・ 合数 		
	ストップビット	● 1	© 2		
	フロー制御	○ なし	ER(DTR/CTS) C XON/XOFF		
	タイムアウト	3 🔹 (s	ec)		
	リトライ	2 *			
	送信ウェイト	n) 🗧 🛛	ns)		
	伝送制御手順	伝送制御手順2	v		
	RI / VCC	© RI	O VOC		
	RS232Cの場合、9種 にするかを選択でき	番ピンをRI(入力)に ます。デジタル製成	するかVCC(5/電源供給) 52320アイソリーションフェッ		
	ドを使用する場合は	、 Vocを選択して	(ださい。 初期設定		
機器	翻設定				
	接続可能台数 16台	111	=7,,		
	NO. 1版码沿 3 1 PLC1		apre		
設定画面を表示するには、[接続機器設定]の[機器設定]から設定したい接続機器の 🏬([設定]) をクリックします。

💰 個別機	器設定	×
PLC1		
シリーズ シリーズを変更 るアドレスを再 号機 No	H シリーズ 更した場合は、す 確認してください。 D	▼ でに使用されてい
		初期設定
	OK(<u>O</u>)	キャンセル

接続機器の設定(CPU ユニット上のシリアルポート)

通信設定は CPU ユニットのスイッチで設定を行います。通信方式はラダーソフト (LADDER EDI-TOR for Windows) でアドレス WRF037 に E100(H) ¹を入力することで RS422/RS485 (伝送制御手順 2)に設定されます。通信設定を行った後は、接続機器の電源を再投入して設定内容を有効にします。 詳細は接続機器のマニュアルを参照してください。

1 終端抵抗を有効にする場合には、F100(H)を入力してください。また、E100(またはF100)の 下位2桁には、表示器側で設定した号機 No.を入力してください。

モー	ド設定スイ	ッチ
----	-------	----

ディップスイッチ	設定	内容
SW03	ON	 ポート1の伝送速度・19,200 bps
SW04	OFF	小一 [*] 07 仏区迷侵 . 19,200 bps
SW05	ON	ポート1の動作:専用ポート

МЕМО

• その他の伝送速度の設定は以下のとおりです。

SW03	SW04	SW05	伝送速度
ON	ON	ON	4,800 bps
OFF	ON	ON	9,600 bps
OFF	OFF	ON	38,400 bps

3.15 設定例 15

GP-Pro EX の設定

通信設定

接続機器1	
概要	· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·
メーカー ((株)日立産機システム	シリーズ H シリーズ SIO ポート COM1
文字列データモード 1 変更	
通信設定	
通信方式 C RS232C 💿 R	S422/485(2線式) 🔘 RS422/485(4線式)
通信速度 19200 💌]
データ長 💽 7 🔘 8	
パリティ 🔿 なし 🔍 億 偶	数 C 奇数
ストップビット 💿 1 💿 2	
フロー制御 C なし 💽 E	R(DTR/CTS) O XON/XOFF
タイムアウト 3 🕂 (sec)	
ሀՒライ 2 🛨	
送信ウェイト 🛛 📑 (ms)	
伝送制御手順 伝送制御手順2 👤]
RI/VCC © RI O V	00
RS232Cの場合、9番ピンをRI(入力)にするか にするかを選択できます。デジタル製RS232C	VCC伝V電源供給) アイソレージョンコニッ
ドを使用する場合は、VCOを選択してください	* * * * * * * * * * * * * * * * * * *
機器別設定	
接続可能台数 16台 📷	=7,
NO. 11 1 PLC1	ax.⊭

設定画面を表示するには、[接続機器設定]の[機器設定]から設定したい接続機器の 🏬([設定]) をクリックします。

💰 個別機	器設定	×
PLC1		
シリーズ シリーズを変更 るアドレスを再 号機 No	H シリーズ 更した場合は、す 確認してください。 D	▼ でに使用されてい
		初期設定
	OK(<u>O</u>)	キャンセル

接続機器の設定(CPU ユニット上のシリアルポート)

通信設定は CPU ユニットのスイッチで設定を行います。通信方式はラダーソフト (LADDER EDI-TOR for Windows) でアドレス WRF037 に E200(H) ¹を入力することで RS422/RS485 (伝送制御手順 2)に設定されます。通信設定を行った後は、接続機器の電源を再投入して設定内容を有効にします。 詳細は接続機器のマニュアルを参照してください。

1 終端抵抗を有効にする場合には、F200(H)を入力してください。また、E200(またはF200)の 下位2桁には、表示器側で設定した号機 No.を入力してください。

τ-	ド設定スイ	ッチ
----	-------	----

ディップスイッチ	設定	内容
SW03	ON	 ポート1の伝送速度・19,200 bps
SW04	OFF	小一 [*] 07 仏区迷侵 . 19,200 bps
SW05	ON	ポート1の動作:専用ポート

МЕМО

• その他の伝送速度の設定は以下のとおりです。

SW03	SW04	SW05	伝送速度
ON	ON	ON	4,800 bps
OFF	ON	ON	9,600 bps
OFF	OFF	ON	38,400 bps

3.16 設定例 16

GP-Pro EX の設定

通信設定

接続	機器1			
概	要			接続機器変更
	メーカー (株)日立産	:機システム	シリーズ 旧 シリーズ SIO	
	, 文字列データモード	1 変更	,	,
·=./		,		
逥	言說定			
	通信方式	RS232C	○ RS422/485(2線式) ○ RS422/485(4線式)	
	通信速度	19200	•	
	データ長	• 7	C 8	
	パリティ	○ なし	 ● 偶数 ○ 奇数 	
	ストップビット	● 1	C 2	
	フロー制御	○ なし	• ER(DTR/CTS) C XON/XOFF	
	タイムアウト	3 🕂 (sec)	
	リトライ	2 📫		
	送信ウェイト	0 🗄 (ms)	
	伝送制御手順	伝送制御手順約	2	
	RI / VCC	• RI	C VCC	
	RS232Cの場合、9	番ピンをRI(入力)(。	するかVCC(5V電源供給)	
	にするかを選択でき トを使用する場合()	ます。デジタル製R よ、VCCを選択して	S232Cアイソレーションユニッ ください。 211月間発売	
300				
代表	話別語(定) - +在-(まって+10-/へまた、-1-0-/			
	接続可能音致 105 No 機器名	۳ <u>س</u>	設定	
	1 PLC1			

設定画面を表示するには、[接続機器設定]の[機器設定]から設定したい接続機器の 🏬([設定]) をクリックします。

🏄 個別機	导設定	×
PLC1		
シリーズ シリーズを変更 るアドレスを再	H シリーズ 夏した場合は、す 確認してください	▼ でに使用されてい '°
号機 No.	p	
		初期設定
	OK(<u>O</u>)	キャンセル

接続機器の設定(EH-SIO)

通信設定は EH-SIO のスイッチで設定を行います。設定後、I/O 割付を行い、接続機器の電源を再投入 して設定内容を有効にします。I/O 割付はラダーソフト(LADDER EDITOR for Windows)で行いま す。

詳細は接続機器のマニュアルを参照してください。

手順

1. EH-SIO のディップスイッチで通信設定を行います。

ディップスイッチ	設定	内容
01	OFF	
02	ON	通信速度:19,200 bps
03	ON	その他の伝送速度の設定は、接続機器のマニュアルを参照してください。
04	ON	
05	OFF	伝送文字構成設定 データ長:7ビット
06	ON	ストップビット:1 ビット
07	OFF	パリティの種類:偶数
08	OFF	常時 OFF

2. 初期設定を行うラダープログラムが必要です。詳細は接続機器のマニュアルを参照してください。

3.17 設定例 17

GP-Pro EX の設定

通信設定

接続機器1				
概要				接続機器変更
メーカー	(株)日立産機	システム	シリーズ H シリーズ SIO	ポート COM1
文字列:	, データモード [`	 1 _ <u>変更</u>		
通信設定				
通信放准	e (BS232C	〇 BS422/485(2線式) 〇 BS422/485(4線式)	
通信速度	ġ [19200		
データ馬	~ 1	• 7	0.8	
ノ シュー パリティ	(○ なし	○ 佛教 ○ 奇教	
ストップド	יאר (• 1	0.2	
フロー制	ita (- · ① なし		
タイムアロ	7K [3 - 600		
リトライ				
送信ウィ	ו זא 1		2)	
伝送制	助手順		•	
	·····)	C. DI		
RI / VC BS232	U Cの場合、9番I	● RI ピンをRI(入力)につ	○ VCC まるかVCC(5V電源供給)	
にする; トを使	かを選択できます 用する場合は、	す。デジタル製RS VCCを選択してく	2320 アイソレーションユニッ ださい。	L
			▲ //具唱文定	
機器別設定 接続可能	と合数 16台 [
No.	機器名			
 1	PLC1		■ ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ●	

設定画面を表示するには、[接続機器設定]の[機器設定]から設定したい接続機器の 🏬([設定]) をクリックします。

💰 個別機器	設定	×
PLC1		
シリーズ シリーズを変更 るアドレスを再	H シリーズ 〔した場合は、す 確認してください	▼ でに使用されてい '°
号機 No.	p	÷
		初期設定
	OK(<u>O</u>)	キャンセル

接続機器の設定(EH-SIO)

通信設定は EH-SIO のスイッチで設定を行います。設定後、I/O 割付を行い、接続機器の電源を再投入 して設定内容を有効にします。I/O 割付はラダーソフト(LADDER EDITOR for Windows)で行いま す。

詳細は接続機器のマニュアルを参照してください。

手順

1. EH-SIO のディップスイッチで通信設定を行います。

ディップスイッチ	設定	内容
01	OFF	
02	ON	通信速度:19,200 bps
03	ON	その他の伝送速度の設定は、接続機器のマニュアルを参照してください。
04	ON	
05	OFF	伝送文字構成設定 データ長:7ビット
06	ON	ストップビット:1 ビット
07	OFF	パリティの種類:偶数
08	OFF	インターフェイス選択:RS232C

通信設定スイッチ2(ポート2用)

2. 初期設定を行うラダープログラムが必要です。詳細は接続機器のマニュアルを参照してください。

3.18 設定例 18

GP-Pro EX の設定

通信設定

接続	機器1			
概要	Ē			接続機器変更
	メーカー (株)日立産	機システム	シリーズ H シリーズ SIO	ポート COM1
	文字列データモード	1 変更		
通信	設定			
	通信方式	C RS232C	○ RS422/485(2線式) ◎ RS422/485(4線式)	
	通信速度	19200	•	
	データ長	• 7	0.8	
	パリティ	○ なし	 ● 偶数 ○ 奇数 	
	ストップビット	● 1	© 2	
	フロー制御	○ なし	• ER(DTR/CTS) C XON/XOFF	
	タイムアウト	3 📫 (s	ec)	
	リトライ	2 .		
	送信ウェイト	n) 🗧 🛛	ns)	
	伝送制御手順	伝送制御手順2	×	
	RI / VCC	💿 RI	O VOC	
	RS232Cの場合、94 にするかを選択でき	番ピンをRI(入力)に ます。デジタル製R	するかVCC(5V電源供給) 3232Cアイソレーションフェッ	
	ドを使用する場合は	、 Vooを選択して	(ださい。 初期設定	
機器	制設定			
	接続可能台数 16台	111	=/\	
	No. 1後辞名			

設定画面を表示するには、[接続機器設定]の[機器設定]から設定したい接続機器の 🏬([設定]) をクリックします。

🏄 個別機都	导設定	×
PLC1		
シリーズ シリーズを変更 るアドレスを再 号機 No.	H シリーズ した場合は、すでは 確認してください。 D	▼ :使用されてい
	ОК <u>(0)</u> *	初期設定

接続機器の設定(EH-SIO)

通信設定は EH-SIO のスイッチで設定を行います。設定後、I/O 割付を行い、接続機器の電源を再投入 して設定内容を有効にします。I/O 割付はラダーソフト(LADDER EDITOR for Windows)で行いま す。

詳細は接続機器のマニュアルを参照してください。

手順

1. EH-SIO のディップスイッチで通信設定を行います。

ディップスイッチ	設定	内容
01	OFF	
02	ON	通信速度:19,200 bps
03	ON	その他の伝送速度の設定は、接続機器のマニュアルを参照してください。
04	ON	
05	OFF	伝送文字構成設定 データ長:7ビット
06	ON	ストップビット:1 ビット
07	OFF	パリティの種類:偶数
08	ON	インターフェイス選択:RS422/RS485

通信設定スイッチ2(ポート2用)

2. 初期設定を行うラダープログラムが必要です。詳細は接続機器のマニュアルを参照してください。

3.19 設定例 19

GP-Pro EX の設定

通信設定

接続	機器1		
概要	Ę		· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·
	メーカー (株)日立産	機システム	シリーズ H シリーズ SIO ポート COM1
	文字列データモード	1 変更	
通信	言設定		
	 通信方式	C RS232C	● RS422/485(2線式) ○ RS422/485(4線式)
	通信速度	19200	
	データ長	• 7	08
	パリティ	○ なし	 ● 偶数 ○ 奇数
	ストップビット	⊙ 1	© 2
	フロー制御	○ なし	• ER(DTR/CTS) O XON/XOFF
	タイムアウト	3 📫 (;	sec)
	リトライ	2 📫	
	送信ウェイト	0 🔅 (ns)
	伝送制御手順	伝送制御手順2	
	RI / VCC	© RI	C VOC
	RS232Cの場合、9i にするかを選択でき	番ピンをRI(入力)に ます。デジタル製R	するかVCC仮V電源供給) \$2320 アイソルージョンコニッ
	下を使用する場合は	E. VCCを選択して	べださい。 初期設定
機器	翻設定		
	接続可能台数 16台	110	5A
	NO. 1版品名		

設定画面を表示するには、[接続機器設定]の[機器設定]から設定したい接続機器の 🏬([設定]) をクリックします。

🏄 個別機都	导設定	×
PLC1		
シリーズ シリーズを変更 るアドレスを再 号機 No.	H シリーズ した場合は、すでは 確認してください。 D	▼ :使用されてい
	ОК <u>(0)</u> *	初期設定

接続機器の設定(EH-SIO)

通信設定は EH-SIO のスイッチで設定を行います。設定後、I/O 割付を行い、接続機器の電源を再投入 して設定内容を有効にします。I/O 割付はラダーソフト(LADDER EDITOR for Windows)で行いま す。

詳細は接続機器のマニュアルを参照してください。

手順

1. EH-SIO のディップスイッチで通信設定を行います。

ディップスイッチ	設定	内容
01	OFF	
02	ON	通信速度:19,200 bps
03	ON	その他の伝送速度の設定は、接続機器のマニュアルを参照してください。
04	ON	
05	OFF	伝送文字構成設定 データ長:7ビット
06	ON	ストップビット:1 ビット
07	OFF	パリティの種類:偶数
08	ON	インターフェイス選択:RS422/RS485

通信設定スイッチ2(ポート2用)

2. 初期設定を行うラダープログラムが必要です。詳細は接続機器のマニュアルを参照してください。

3.20 設定例 20

GP-Pro EX の設定

通信設定

接続	機器1			
概	臣 一			接続機器変更
	- メーカー (株)日立産	:機システム	シリーズ 旧 シリーズ SIO	ポート COM1
	, 文字列データモード	1 変更	,	,
·=,	-= 1,	,		
逥	言設定			
	通信方式	RS232C	○ RS422/485(2線式) ○ RS422/485(4線式)	
	通信速度	19200	•	
	データ長	• 7	○ 8	
	パリティ	○ なし	 ● 偶数 ○ 奇数 	
	ストップビット	• 1	C 2	
	フロー制御	○ なし	• ER(DTR/CTS) C XON/XOFF	
	タイムアウト	3 🔅 (sec)	
	リトライ	2 ÷		
	送信ウェイト	0 🕂 (ms)	
	伝送制御手順	伝送制御手順1	•	
[RI / VCC	• RI	C VCC	
	RS232Cの場合、9	番ピンをRI(入力)(;	zするかVCC(5V電源供給)	
	 にするかを選択でき トを使用する場合() 	ます。デジタル製R ま、VCCを選択して	S232Cアイソレーションユニッ (ださい。 ね1世話会会 1	
100				
代版社	語別語定 			
	接続可能音致 10世 No 機器名	r 💵	設定	
	1 PLC1			

設定画面を表示するには、[接続機器設定]の[機器設定]から設定したい接続機器の 🏬([設定]) をクリックします。

💰 個別機	器 設定	×
PLC1		
シリーズ シリーズを変〕 るアドレスを利	H シリーズ 更した場合は、す 耳確認してください	▼ でに使用されてい 。
号機 No.	p	÷.
		初期設定
	OK(<u>O</u>)	キャンセル

接続機器の設定(CPU ユニット上のポート)

通信設定はラダーソフト(LADDER EDITOR for Windows)で行います。詳細は接続機器のマニュアルを参照してください。

手順

1. 接続機器の正面カバー内にあるディップスイッチでラダーソフトと通信可能な状態にします。

下表のように設定します。

ディップスイッチ	設定	内容
SW01	ON	
SW02	OFF	伝送速度:19,200 bps
SW03	OFF	その他の伝送速度の設定は、接続機器のマニュアルを参照してください。
SW04	OFF	

- 2. I/O No.WRF01A に 0000(H) をセットし、I/O No.R7F6 を ON することで接続機器の FLASH メモリ に設定を書込みます。
- WRF01A

限定ビット	設定	内容
15	0	伝送制御手順1

• R7F6

限定ビット	設定	内容
-	1	FLASH メモリ書込み

3.21 設定例 21

GP-Pro EX の設定

通信設定

接続	機器1			
概	Ē			接続機器変更
	メーカー (株)日立産	機システム	シリーズ H シリーズ SIO	ポート COM1
	文字列データモード	1 変更		
通信	記定			
	通信方式	C RS232C	○ RS422/485(2線式) ◎ RS422/485(4線式)	
	通信速度	19200	•	
	データ長	• 7	O 8	
	パリティ	○ なし	 ・ 偶数 ○ 奇数 	
	ストップビット	• 1	O 2	
	フロー制御	○ なし	ER(DTR/CTS) C XON/XOFF	
	タイムアウト	3 📫 (;	sec)	
	リトライ	2 📫		
	送信ウェイト	0 🔅 (ns)	
	伝送制御手順	伝送制御手順1	×	
	RI / VCC	© RI	C VCC	
	RS232Cの場合、94 にするかを選択でき	番ピンをRI(入力)に ます。デジタル製R	するか VCC(5)(電源供給) 5232Cアイソレーションフェッ	
	下を使用する場合は	L. VOCを選択して	ください。初期設定	
機器	翻設定			
	接続可能台数 16台	110		
	NO. 1版研名		=	

設定画面を表示するには、[接続機器設定]の[機器設定]から設定したい接続機器の 🏬([設定]) をクリックします。

🏄 個別機制	昏談定	×
PLC1		
シリーズ シリーズを変更 るアドレスを再	H シリーズ [した場合は、すう 確認してください。	▼ でに使用されてい
号機 No.	D	=
		初期設定
	OK(<u>O</u>)	キャンセル

接続機器の設定(CPU ユニット上のポート)

通信設定はラダーソフト(LADDER EDITOR for Windows)で行います。詳細は接続機器のマニュアル を参照してください。

手順

- 1. I/O No.WRF03D に以下の通信設定をセットし、I/O No.R7F6 を ON することで接続機器の FLASH メモリに設定を書込みます。
- WRF03D

限定ビット	設定	内容
15	1 1	設定変更要求
14	0	伝送制御手順1
13	1	局番の有/無:有
11 ~ 8	0010(H)	伝送速度:19,200 bps その他の伝送速度の設定は、接続機器のマニュアルを参照してください。
7 ~ 0	0	局番 2

1 通信設定を行う場合に「1」をセットします。接続機器の電源を再投入すると「0」に変更されます。

2 局番は BCD2 桁で設定します。ビット位置 7 ~ 4 が 10 の位、ビット位置 3 ~ 0 が 1 の位に あたります。

• R7F6

限定ビット	設定	内容
-	1	FLASH メモリ書込み

3.22 設定例 22

GP-Pro EX の設定

通信設定

接続	機器1		
概要	Ē		<u>接続機器変更</u>
	メーカー (株)日立産	機システム	シリーズ H シリーズ SIO ポート COM1
	文字列データモード	1 変更	
通信	設定		
	通信方式	C RS232C	● RS422/485(2線式) ○ RS422/485(4線式)
	通信速度	19200	
	データ長	● 7	C 8
	パリティ	○ なし	 ● 偶数 ○ 奇数
	ストップビット	● 1	© 2
	フロー制御	○ なし	
	タイムアウト	3 📫 (s	ec)
	リトライ	2 📫	
	送信ウェイト	0 ÷ (r	ns)
	伝送制御手順	伝送制御手順1	
	RI / VCC	© RI	C VCC
	RS232Cの場合、9i にするかを選択でき	番ピンをRI(入力)に ます。デジタル製R	するかVCC6V電源供給) 3232Cアイソレーションフェッ
	ドを使用する場合は	t、Vooを選択して	ださい。初期設定
機器	制設定		
	接続可能台数 16台	11	科中
	1 PLC1		====================================

設定画面を表示するには、[接続機器設定]の[機器設定]から設定したい接続機器の 🏬([設定]) をクリックします。

🏄 個別機制	导設定	×
PLC1		
シリーズ シリーズを変更 るアドレスを再 号が M-	H シリーズ した場合は、すで 確認してください。	▼
-5 the NU.	р ОК(<u>0</u>)	 初期設定 キャンセル

接続機器の設定(CPU ユニット上のポート)

通信設定はラダーソフト(LADDER EDITOR for Windows)で行います。詳細は接続機器のマニュアル を参照してください。

手順

- 1. I/O No.WRF03D に以下の通信設定をセットし、I/O No.R7F6 を ON することで接続機器の FLASH メモリに設定を書込みます。
- WRF03D

限定ビット	設定	内容	
15	1 1	設定変更要求	
14	0	伝送制御手順1	
13	1	局番の有/無:有	
11 ~ 8	0010(H)	伝送速度:19,200 bps その他の伝送速度は、接続機器のマニュアルを参照してください。	
7 ~ 0	0	局番 2	

1 通信設定を行う場合に「1」をセットします。接続機器の電源を再投入すると「0」に変更されます。

2 局番は BCD2 桁で設定します。ビット位置 7 ~ 4 が 10 の位、ビット位置 3 ~ 0 が 1 の位に あたります。

• R7F6

限定ビット	設定	内容
-	1	FLASH メモリ書込み

3.23 設定例 23

GP-Pro EX の設定

通信設定

接続機器1			
概要			接続機器変更
メーカー (株)日立産	機システム	シリーズ H シリーズ SIO	ポート COM1
文字列データモード	1 <u>変更</u>		
通信設定			
通信方式	• R\$232C	○ RS422/485(2線式) ○ RS422/485(4線式)	
通信速度	19200		
データ長	• 7	0.8	
パリティ	○ なし	 • 偶数 ○ 奇数 	
ストップビット	● 1	0 2	
フロー制御	○ なし	ER(DTR/CTS) C XON/XOFF	
タイムアウト	3 ÷ (s	ec)	
リトライ	2		
送信ウェイト	0 🕂 (r	ns)	
伝送制御手順	伝送制御手順1	×	
RI / VCC	• RI	O VCC	
RS232Cの場合、94 にするかた避視でき	番ピンをRI(入力)に ます。デジタル制度	するかVCC(5V電源供給)	
トを使用する場合は	、VCCを選択して	(ださい。 初期設定	
機器別設定			
接続可能台数 16台	111		
No. 機器名			

設定画面を表示するには、[接続機器設定]の[機器設定]から設定したい接続機器の 🏬([設定]) をクリックします。

💰 個別機器	設定	×
PLC1		
シリーズ シリーズを変更 るアドレスを再	H シリーズ 〔した場合は、す 確認してください	▼ でに使用されてい 。
号機 No.	p	÷
		初期設定
	OK(<u>O</u>)	キャンセル

接続機器の設定(EH-OB232)

通信設定はラダーソフト(LADDER EDITOR for Windows)で行います。詳細は接続機器のマニュアル を参照してください。

手順

- 1. I/O No.WRF03D に以下の通信設定をセットし、I/O No.R7F6 を ON することで接続機器の FLASH メモリに設定を書込みます。
- WRF03D

限定ビット	設定	内容
15	1 1	設定変更要求
14	0	伝送制御手順1
13	0	局番の有/無:無
11 ~ 8	0010(H)	伝送速度:19,200 bps その他の伝送速度の設定は、接続機器のマニュアルを参照してください。

1 通信設定を行う場合に「1」をセットします。接続機器の電源を再投入すると「0」に変更されます。

• R7F6

限定ビット	設定	内容
-	1	FLASH メモリ書込み

3.24 設定例 24

GP-Pro EX の設定

通信設定

接続	機器1		
概要	Ē		<u>接続機器変更</u>
	メーカー (株)日立産	機システム	シリーズ H シリーズ SIO ポート COM1
	文字列データモード	1 変更	
通信	設定		
	通信方式	C RS232C	○ RS422/485(2線式) ● RS422/485(4線式)
	通信速度	19200	
	データ長	● 7	C 8
	パリティ	○ なし	 ● 偶数 ○ 奇数
	ストップビット	● 1	© 2
	フロー制御	○ なし	ER(DTR/CTS) C XON/XOFF
	タイムアウト	3 📫 (s	ec)
	リトライ	2 📫	
	送信ウェイト	0 📫 (r	ns]
	伝送制御手順	伝送制御手順1	
	RI / VCC	© RI	C VOC
	RS232Cの場合、9i にするかを選択でき	番ピンをRI(入力)に ます。デジタル製R	するかVCC6V電源供給) \$232Gアイソレージョンフェッ
	ドを使用する場合は	t、Vooを選択して	(ださい。 初期設定
機器	制設定		
	接続可能台数 16台	11	24¢
	1 PLC1		

設定画面を表示するには、[接続機器設定]の[機器設定]から設定したい接続機器の 🏬([設定]) をクリックします。

🏄 個別機都	导設定	×
PLC1		
シリーズ シリーズを変更 るアドレスを再 号機 No.	H シリーズ した場合は、すでは 確認してください。 D	▼ :使用されてい
	ОК <u>(0)</u> *	初期設定

接続機器の設定(EH-OB485)

通信設定はラダーソフト(LADDER EDITOR for Windows)で行います。詳細は接続機器のマニュアル を参照してください。

手順

- 1. I/O No.WRF03D に以下の通信設定をセットし、I/O No.R7F6 を ON することで接続機器の FLASH メモリに設定を書込みます。
- WRF03D

限定ビット	設定	内容
15	1 1	設定変更要求
14	0	伝送制御手順1
13	1	局番の有/無:有
11 ~ 8	0010(H)	伝送速度:19,200 bps その他の伝送速度の設定は、接続機器のマニュアルを参照してください。
7 ~ 0	0	局番 2

1 通信設定を行う場合に「1」をセットします。接続機器の電源を再投入すると「0」に変更されます。

2 局番は BCD2 桁で設定します。ビット位置 7 ~ 4 が 10 の位、ビット位置 3 ~ 0 が 1 の位に あたります。

• R7F6

限定ビット	設定	内容
-	1	FLASH メモリ書込み

3.25 設定例 25

GP-Pro EX の設定

通信設定

接続機器1			
概要			接続機器変更
メーカー	(株)日立産機	システム	シリーズ H シリーズ SIO ポート COM1
文字列元	データモード [⁻	1 <u>変更</u>	
通信設定			
通信方式	e (O RS232C	● RS422/485(2線式) ○ RS422/485(4線式)
通信速度	ŧ	19200	
データ長	(• 7	C 8
パリティ		○ なし	 ● 偶数 ○ 奇数
ストップビ	৩৮ (● 1	C 2
フロー制術	ŧp (○ なし	ER(DTR/CTS) C XON/XOFF
タイムアウ	가	3 📑 (se	ec)
リトライ		2 🕂	
送信ウェ	7F	0 📑 (m	(an
伝送制御	『手順	伝送制御手順1	T
RI / VC	0 (© RI	C VCC
RS2320	Cの場合、9番	ピンをRI(入力)にな す。デジタル制度S	するかVCC(5V電源供給) 2020年代11
トを使用	用する場合は、	yooを選択してく	になっているシューターションユーター (ださい)。 初期時定
機器別設定			
接続可能	もおしていた (16台 (Here and a second	
No.	機器名 PLC1		設定

設定画面を表示するには、[接続機器設定]の[機器設定]から設定したい接続機器の 🏬([設定]) をクリックします。

🏄 個別機都	导設定	×
PLC1		
シリーズ シリーズを変更 るアドレスを再 号機 No	H シリーズ 回した場合は、す 確認してください。 D	▼ でに使用されてい
	ок(<u>о</u>)	初期設定 キャンセル

接続機器の設定(EH-OB485)

通信設定はラダーソフト(LADDER EDITOR for Windows)で行います。詳細は接続機器のマニュアル を参照してください。

手順

- 1. I/O No.WRF03D に以下の通信設定をセットし、I/O No.R7F6 を ON することで接続機器の FLASH メモリに設定を書込みます。
- WRF03D

限定ビット	設定	内容
15	1 1	設定変更要求
14	0	伝送制御手順1
13	1	局番の有/無:有
11 ~ 8	0010(H)	伝送速度:19,200 bps その他の伝送速度の設定は、接続機器のマニュアルを参照してください。
7 ~ 0	0	局番 2

1 通信設定を行う場合に「1」をセットします。接続機器の電源を再投入すると「0」に変更されます。

2 局番は BCD2 桁で設定します。ビット位置 7 ~ 4 が 10 の位、ビット位置 3 ~ 0 が 1 の位に あたります。

• R7F6

限定ビット	設定	内容
-	1	FLASH メモリ書込み

3.26 設定例 26

GP-Pro EX の設定

通信設定

接続機器1	
	接続機器変更
メーカー (株)日立産機システム シリーズ H シリーズ SIO	ポート COM1
文字列データモード 1 変更	
通信設定	
通信方式 ⓒ RS232C 〇 RS422/485(2線式) 〇 RS422/485(4線式)	
通信速度 19200 🔽	
データ長 07 08	
パリティ 🔿 なし 💿 偶数 🔿 奇数	
ストップビット 🖸 1 🔿 2	
フロー制御 〇 なし ④ ER(DTR/CTS) 〇 XON/XOFF	
タイムアウト 3 芸 (sec)	
リトライ 2 🕂	
送信ウェイト 🛛 🕂 (ms)	
伝送制御手順 伝送制御手順2 ▼	
RI/VCC	
RS232Cの場合、9番ピンをRI(入力)にするかVCC(5V電源供給) にするかを避視できます。デジタル製品S232Cアイソルージョンコニッ	
トを使用する場合は、VOCを選択してください。 初期設定	
·····································	
接続可能合数 16台 📷	
No. 機器名 設定	

設定画面を表示するには、[接続機器設定]の[機器設定]から設定したい接続機器の 🏬([設定]) をクリックします。

💰 個別機器設定	×
PLC1	
シリーズ Hシリーズ シリーズを変更した場合は、すでに使用され るアドレスを再確認してください。	・ .てい
号機 No. 🛛	
2刀其相提的	Ê
OK(Q) キャンセル	

接続機器の設定(CPU ユニット上のポート)

通信設定はラダーソフト(LADDER EDITOR for Windows)で行います。詳細は接続機器のマニュアルを参照してください。

手順

1. 接続機器の正面カバー内にあるディップスイッチでラダーソフトと通信可能な状態にします。

下表のように設定します。

ディップスイッチ	設定	内容
SW01	ON	
SW02	OFF	通信設定:19,200 bps
SW03	OFF	その他の伝送速度の設定は、接続機器のマニュアルを参照してください。
SW04	OFF	

- 2. I/O No.WRF01A に 8000(H) をセットし、I/O No.R7F6 を ON することで接続機器の FLASH メモリ に設定を書込みます。
- WRF01A

限定ビット	設定	内容
15	1	伝送制御手順2

• R7F6

限定ビット	設定	内容
-	1	FLASH メモリ書込み

3.27 設定例 27

GP-Pro EX の設定

通信設定

接続機器1				
概要	Ē			接続機器変更
	メーカー (株)日立産	機システム	シリーズ H シリーズ SIO	ポート COM1
	文字列データモード	1 変更		
通信	設定			
	通信方式	C RS232C	○ RS422/485(2線式) ◎ RS422/485(4線式)	
	通信速度	19200	•	
	データ長	• 7	0.8	
	パリティ	○ なし	 ● 偶数 ○ 奇数 	
	ストップビット	● 1	© 2	
	フロー制御	○ なし	• ER(DTR/CTS) C XON/XOFF	
	タイムアウト	3 📫 (s	ec)	
	リトライ	2 .		
	送信ウェイト	n) 🗧 🛛	ns)	
	伝送制御手順	伝送制御手順2	×	
	RI / VCC	💿 RI	O VOC	
	RS232Cの場合、94 にするかを選択でき	番ピンをRI(入力)に ます。デジタル製R	するかVCC(5V電源供給) 3232Cアイソレーションフェッ	
	ドを使用する場合は	、 Vocを選択して	(ださい。 初期設定	
機器	制設定			
	接続可能台数 16台	111	=/\	
	No. 1後辞名			

設定画面を表示するには、[接続機器設定]の[機器設定]から設定したい接続機器の 🏬([設定]) をクリックします。

🏄 個別機制	昏談定	×
PLC1		
シリーズ シリーズを変更 るアドレスを再 号機 No.	H シリーズ 夏した場合は、すて 確認してください。 D	▼ でに使用されてい
	ок(<u>о</u>)	初期設定 キャンセル

接続機器の設定(CPU ユニット上のポート)

通信設定はラダーソフト(LADDER EDITOR for Windows)で行います。詳細は接続機器のマニュアル を参照してください。

手順

- 1. I/O No.WRF03D に以下の通信設定をセットし、I/O No.R7F6 を ON することで接続機器の FLASH メモリに設定を書込みます。
- WRF03D

限定ビット	設定	内容	
15	1 1	設定変更要求	
14	1	伝送制御手順 2	
13	1	局番の有/無:有	
11 ~ 8	0010(H)	伝送速度:19,200 bps その他の伝送速度の設定は、接続機器のマニュアルを参照してください。	
7 ~ 0	0	局番 2	

1 通信設定を行う場合に「1」をセットします。接続機器の電源を再投入すると「0」に変更されます。

2 局番は BCD2 桁で設定します。ビット位置 7 ~ 4 が 10 の位、ビット位置 3 ~ 0 が 1 の位に あたります。

• R7F6

限定ビット	設定	内容
-	1	FLASH メモリ書込み

3.28 設定例 28

GP-Pro EX の設定

通信設定

接続	接続機器1				
概要	Ę		· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·		
	メーカー (株)日立産	機システム	シリーズ H シリーズ SIO ポート COM1		
	文字列データモード	1 変更			
通信	言設定				
	 通信方式	C RS232C	● RS422/485(2線式) ○ RS422/485(4線式)		
	通信速度	19200			
	データ長	• 7	08		
	パリティ	○ なし	 ● 偶数 ○ 奇数 		
	ストップビット	⊙ 1	© 2		
	フロー制御	○ なし	• ER(DTR/CTS) O XON/XOFF		
	タイムアウト	3 📫 (;	sec)		
	リトライ	2 📫			
	送信ウェイト	0 🔅 (ns)		
	伝送制御手順	伝送制御手順2			
	RI / VCC	© RI	C VOC		
	RS232Cの場合、9i にするかを選択でき	番ピンをRI(入力)に ます。デジタル製R	するかVCC仮V電源供給) \$2320アイソルージョンコニッ		
	下を使用する場合は	E. VCCを選択して	べださい。 初期設定		
機器	翻設定				
	接続可能台数 16台	110	5A		
	NO. 1版品名				

設定画面を表示するには、[接続機器設定]の[機器設定]から設定したい接続機器の 🏬([設定]) をクリックします。

🏄 個別機制	昏談定	×
PLC1		
シリーズ シリーズを変更 るアドレスを再 号機 No.	H シリーズ 夏した場合は、すて 確認してください。 D	▼ でに使用されてい
	ок(<u>о</u>)	初期設定 キャンセル

接続機器の設定(CPU ユニット上のポート)

通信設定はラダーソフト(LADDER EDITOR for Windows)で行います。詳細は接続機器のマニュアルを参照してください。

手順

- 1. I/O No.WRF03D に以下の通信設定をセットし、I/O No.R7F6 を ON することで接続機器の FLASH メモリに設定を書込みます。
- WRF03D

限定ビット	設定	内容
15	1 1	設定変更要求
14	1	伝送制御手順2
13	1	局番の有/無:有
11 ~ 8	0010(H)	伝送速度:19,200 bps その他の伝送速度の設定は、接続機器のマニュアルを参照してください。
7 ~ 0	0	局番 2

1 通信設定を行う場合に「1」をセットします。接続機器の電源を再投入すると「0」に変更されます。

2 局番は BCD2 桁で設定します。ビット位置 7 ~ 4 が 10 の位、ビット位置 3 ~ 0 が 1 の位に あたります。

• R7F6

限定ビット	設定	内容
-	1	FLASH メモリ書込み

3.29 設定例 29

GP-Pro EX の設定

通信設定

接続	接続機器1				
概要	Ę			接続機器変更	
	メーカー (株)日立産	機システム	シリーズ H シリーズ SIO	ポート COM1	
	文字列データモード	1 変更			
通信	設定				
	通信方式	RS232C	〇 RS422/485(2線式) 〇 RS422/485(4線式)		
	通信速度	19200	•		
	データ長	• 7	C 8		
	パリティ	○ なし	○ 偶数 ○ 奇数		
	ストップビット	• 1	O 2		
	フロー制御	○ なし	ER(DTR/CTS) C XON/XOFF		
	タイムアウト	3 📑 (sec)		
	リトライ	2 📑			
	送信ウェイト	0 📑 ()	ms)		
	伝送制御手順	伝送制御手順2	2 💌		
	RI / VCC	I RI	C VCC		
	RS232Cの場合、9種 にするかを選択でき	番ピンをRI(入力)に ます。デジタル製R	;するかVCC(5V電源供給) \$232Cアイソレーションユニッ		
	ドを使用する場合は	、Vocを選択して	ください。 初期設定		
機器	割 設 定				
	接続可能台数 16台	1	-7		
	No. 機結名				

設定画面を表示するには、[接続機器設定]の[機器設定]から設定したい接続機器の 🏬([設定]) をクリックします。

💰 個別機器	設定	×
PLC1		
シリーズ シリーズを変更 るアドレスを再	H シリーズ 〔した場合は、す 確認してください	▼ でに使用されてい 。
号機 No.	p	÷
		初期設定
	OK(<u>O</u>)	キャンセル

接続機器の設定(EH-OB232)

通信設定はラダーソフト(LADDER EDITOR for Windows)で行います。詳細は接続機器のマニュアル を参照してください。

手順

- 1. I/O No.WRF03D に以下の通信設定をセットし、I/O No.R7F6 を ON することで接続機器の FLASH メモリに設定を書込みます。
- WRF03D

限定ビット	設定	内容
15	1 1	設定変更要求
14	1	伝送制御手順2
13	0	局番の有/無:無
11 ~ 8	0010(H)	伝送速度:19,200 bps その他の伝送速度の設定は、接続機器のマニュアルを参照してください。

1 通信設定を行う場合に「1」をセットします。接続機器の電源を再投入すると「0」に変更されます。

• R7F6

限定ビット	設定	内容
-	1	FLASH メモリ書込み

3.30 設定例 30

GP-Pro EX の設定

通信設定

接続	機器1			
概要	Ē			接続機器変更
	メーカー (株)日立産	機システム	シリーズ H シリーズ SIO	ポート COM1
	文字列データモード	1 変更		
通信	設定			
	通信方式	C RS232C	○ RS422/485(2線式) ◎ RS422/485(4線式)	
	通信速度	19200	•	
	データ長	• 7	0.8	
	パリティ	○ なし	 ● 偶数 ○ 奇数 	
	ストップビット	● 1	© 2	
	フロー制御	○ なし	• ER(DTR/CTS) C XON/XOFF	
	タイムアウト	3 📫 (s	ec)	
	リトライ	2 .		
	送信ウェイト	n) 🗧 🛛	ns)	
	伝送制御手順	伝送制御手順2	×	
	RI / VCC	💿 RI	O VOC	
	RS232Cの場合、94 にするかを選択でき	番ピンをRI(入力)に ます。デジタル製R	するかVCC(5V電源供給) 3232Cアイソレーションフェッ	
	ドを使用する場合は	、 Vocを選択して	(ださい。 初期設定	
機器	制設定			
	接続可能台数 16台	111	=/\	
	No. 1後辞名			

設定画面を表示するには、[接続機器設定]の[機器設定]から設定したい接続機器の 🏬([設定]) をクリックします。

🏄 個別機都	导設定	×
PLC1		
シリーズ シリーズを変更 るアドレスを再 号機 No.	H シリーズ した場合は、すでは 確認してください。 D	▼ :使用されてい
	ОК <u>(0)</u> *	初期設定

接続機器の設定(EH-OB485)

通信設定はラダーソフト(LADDER EDITOR for Windows)で行います。詳細は接続機器のマニュアル を参照してください。

手順

- 1. I/O No.WRF03D に以下の通信設定をセットし、I/O No.R7F6 を ON することで接続機器の FLASH メモリに設定を書込みます。
- WRF03D

限定ビット	設定	内容
15	1 1	設定変更要求
14	1	伝送制御手順2
13	1	局番の有/無:有
11 ~ 8	0010(H)	伝送速度:19,200 bps その他の伝送速度の設定は、接続機器のマニュアルを参照してください。
7 ~ 0	0	局番 2

1 通信設定を行う場合に「1」をセットします。接続機器の電源を再投入すると「0」に変更されます。

2 局番は BCD2 桁で設定します。ビット位置 7 ~ 4 が 10 の位、ビット位置 3 ~ 0 が 1 の位に あたります。

• R7F6

限定ビット	設定	内容
-	1	FLASH メモリ書込み

3.31 設定例 31

GP-Pro EX の設定

通信設定

接続	機器1		
概要	Ę		· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·
	メーカー (株)日立産	機システム	シリーズ H シリーズ SIO ポート COM1
	文字列データモード	1 変更	
通信	言設定		
	 通信方式	C RS232C	● RS422/485(2線式) ○ RS422/485(4線式)
	通信速度	19200	
	データ長	• 7	08
	パリティ	○ なし	 ● 偶数 ○ 奇数
	ストップビット	⊙ 1	© 2
	フロー制御	○ なし	• ER(DTR/CTS) O XON/XOFF
	タイムアウト	3 📫 (;	sec)
	リトライ	2 📫	
	送信ウェイト	0 🔅 (ns)
	伝送制御手順	伝送制御手順2	
	RI / VCC	© RI	C VOC
	RS232Cの場合、9i にするかを選択でき	番ピンをRI(入力)に ます。デジタル製R	するかVCC仮V電源供給) \$2320 アイソルージョンコニッ
	下を使用する場合は	E. VCCを選択して	べださい。 初期設定
機器	翻設定		
	接続可能台数 16台	110	5A
	NO. 1版品名		

設定画面を表示するには、[接続機器設定]の[機器設定]から設定したい接続機器の 🏬([設定]) をクリックします。

🏄 個別機制	品設定 ×
PLC1	
シリーズ シリーズを変更 るアドレスを再	H シリーズ ■した場合は、すでに使用されてい 確認してください。
号機 No.	p 三 初期設定 OK(Q) キャンセル

接続機器の設定(EH-OB485)

通信設定はラダーソフト(LADDER EDITOR for Windows)で行います。詳細は接続機器のマニュアル を参照してください。

手順

- 1. I/O No.WRF03D に以下の通信設定をセットし、I/O No.R7F6 を ON することで接続機器の FLASH メモリに設定を書込みます。
- WRF03D

限定ビット	設定	内容
15	1 1	設定変更要求
14	1	伝送制御手順2
13	1	局番の有/無:有
11 ~ 8	0010(H)	伝送速度:19,200 bps その他の伝送速度の設定は、接続機器のマニュアルを参照してください。
7 ~ 0	0	局番 2

1 通信設定を行う場合に「1」をセットします。接続機器の電源を再投入すると「0」に変更されます。

2 局番は BCD2 桁で設定します。ビット位置 7 ~ 4 が 10 の位、ビット位置 3 ~ 0 が 1 の位に あたります。

• R7F6

限定ビット	設定	内容
-	1	FLASH メモリ書込み

3.32 設定例 32

GP-Pro EX の設定

通信設定

接続機器1			
概要			
メーカー	(株)日立産機	システム	シリーズ H シリーズ SIO ポート COM1
文字列	データモード	 1 <u>変更</u>	
通信設定			
通信方	 无	• RS232C	○ RS422/485(2線式) ○ RS422/485(4線式)
通信速	度	19200	
データ長	Ę	• 7	0.8
パリティ		○ なし	 ● 偶数 ○ 奇数
ストップ	Ëvŀ	© 1	© 2
フロー制	御	○ なし	ER(DTR/CTS) C XON/XOFF
タイムア	ウト	3 🕂 (sr	(sec)
リトライ		2 🕂	
送信ウ	īłŀ	0 🕂 (m	(ms)
伝送制	御手順	伝送制御手順1	
RI / V	00	⊙ RI	
RS23	20の場合、9番	ピンをRI(入力)にな	こするかVCC(5V電源供給)
に9金	加を選択できま 用する場合は、	9。テンダル製RS VCCを選択してく	は2220アイジレーションユニッ てください。 初期設定
機器別設定			
接続可	能台数 16台	the state	
No I I). 機器名 		設定
	JELOI		
設定画面を表示するには、[接続機器設定]の[機器設定]から設定したい接続機器の 🏬([設定]) をクリックします。

🏄 個別機都	影定	×
PLC1		
シリーズ シリーズを変更 るアドレスを再	Web コントローラ 〔した場合は、す〕 確認してください。	ラシリーズ <mark>↓</mark> でに使用されてい
号機 No.	p	÷
		初期設定
	OK(<u>O</u>)	キャンセル

接続機器の設定(Web コントローラ)

通信設定は接続機器にウェブブラウザでアクセスして行います。詳細は接続機器のマニュアルを参照 してください。

手順

詳細は Web コントローラのマニュアルを参照してください。

1. 接続機器の動作モード設定スイッチを以下のように設定することで、イーサネットポートの仮の IP アドレスが 192.168.0.1 に設定されます。

<動作モード設定スイッチ>

・ロータリスイッチを「2」に設定

- 2. パソコンの Ethernet ポートと Web コントローラの Ethernet ポートを LAN ケーブルで接続します。 (HUB 経由またはクロスケーブルで直接接続します。)
- 3. ウェブブラウザのアドレス入力ボックスに「http://192.168.0.1/mwconfig.cgi」と入力し、接続機器 ヘアクセスします。

アクセスするためには、パソコンの IP アドレスの上位 3 バイトを 192.168.0. に設定する必要があ ります。(192.168.0.10 など)

- 4. 表示された System Configuration Login 画面でログインします。
- 5. 表示された画面の [System Configuration] から [Serial Protocol] [Passive HIProtocol]を選択 し、通信設定を行います。設定後、[SET]をクリックして設定値を確定します。

Serial-Passive HIProtocol

設定項目	設定値
Interface Type	RS232C
Transmission Control Procedure	Procedure1 1:1
Transmission Speed	19.2 kbps
Station No.	0

- 1 伝送制御手順2を使用する場合は[Procedure2 1:1]を選択します。
- 6. 接続機器の動作モード設定スイッチを以下のように設定し、電源を再投入します。

<動作モード設定スイッチ>

・ロータリスイッチを「0」に設定

3.33 設定例 33

GP-Pro EX の設定

通信設定

接続機器1	接続機器1				
概要			接続機器変更		
メーカー (株)日立産	機システム	シリーズ H シリーズ SIO	ポート COM1		
文字列データモード	1 変更				
通信設定					
通信方式	RS232C	○ RS422/485(2線式) ○ RS422/485(4線式)			
通信速度	19200	T			
データ長	● 7	O 8			
パリティ	○ なし	● 偶数 ○ 奇数			
ストップビット	• 1	C 2			
フロー制御	○ なし	ER(DTR/CTS) C XON/XOFF			
タイムアウト	3 📑 (sec)			
リトライ	2 🚦				
送信ウェイト	0 📑 (1	ns)			
伝送制御手順	伝送制御手順1				
RI / VCC	• RI	○ VCC			
RS232Cの場合、94 にするかを選択でき	番ピンをRI(入力)に ます。 デジタル制度	するか VCC (5 V電源供給) \$232 C アイハルージョンフェッ			
下を使用する場合に	t、VCCを選択して	ください。初期設定			
機器別設定					
接続可能台数 16台		記一			
NO. 1機器名		astype シリーズ=EHV シリーズ			

設定画面を表示するには、[接続機器設定]の[機器設定]から設定したい接続機器の 🏬([設定]) をクリックします。

🏄 個別機制	昏談定	×
PLC1		
シリーズ シリーズを変更 るアドレスを再	EHV シリーズ ■した場合は、す 「確認してください。	▼ でに使用されてい
号機 No.	p	÷
		初期設定
	OK(<u>O</u>)	キャンセル

接続機器の設定(CPU ユニット上のシリアルポート)

通信設定はプログラミングソフトウェア(Control Editor)で行います。詳細は接続機器のマニュアル を参照してください。

手順

- プログラミングソフトウェアを起動し、プロジェクトを作成します。オフラインモードでプロ ジェクトが表示されます。
- 2. [ツール]メニューから[エディタ通信設定]を選択し、通信設定ダイアログボックスを表示しま す。
- 3. 通信設定を接続機器に転送するための通信方法を「USB」、「シリアル」から選択し、[設定]をク リックします。
- 4. USB ケーブルまたはシリアルケーブル(日立産機システム製)でパソコンと接続機器を接続しま す。
- 5. [オンライン]メニューから[モード切替] [オンライン]を選択し、オンラインモードへ移行 します。
- 6. [ツール]メニューから[CPU 設定] [シリアル通信設定]を選択し、通信設定を行います。
- CPU 通信設定(シリアル通信設定)

設定項目	設定
シリアル通信設定	専用
ポート種別	RS232C
通信速度	19.2 kbps
通信手順	手順1(1:1) ¹

1 伝送制御手順2で通信する場合は、手順2(1:1)を選択します。

7. 接続機器の電源を再投入します。

3.34 設定例 34

GP-Pro EX の設定

通信設定

接続	機器1		
概要	Ē		· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·
	メーカー (株)日立産	機システム	シリーズ H シリーズ SIO ポート COM1
	文字列データモード	1 変更	
通信	調定		
	通信方式	C RS232C	○ RS422/485(2線式)
	通信速度	19200	×
	データ長	7	C 8
	パリティ	○ なし	 ● 偶数 ○ 奇数
	ストップビット	⊙ 1	C 2
	フロー制御	○ なし	ER(DTR/CTS) C XON/XOFF
	タイムアウト	3 📫 (:	(sec)
	リトライ	2 📫	
	送信ウェイト) 🗧 🛛	(ms)
	伝送制御手順	伝送制御手順1	1
	RI / VCC	💿 RI	C VOC
	RS232Cの場合、94 にするかを選択でき	番ピンをRI(入力)に ます。デジタル製R	こするかVCC(5/)電源供給) 19232Cアイソレーションフェッ
	下を使用する場合は	E、VOCを選択して	べださい。 初期設定
機器	翻設定		
	接続可能台数 16台	1	=1
	NO. 1版研名		まえた

設定画面を表示するには、[接続機器設定]の[機器設定]から設定したい接続機器の 🏬([設定]) をクリックします。

💰 個別機都	导設定 ×	
PLC1		
シリーズ シリーズを変更 るアドレスを再	EHV シリーズ ■した場合は、すでに使用されてい 確認してください。	
号機 No.	P ::::::::::::::::::::::::::::::::::::	

接続機器の設定(CPU ユニット上のシリアルポート)

通信設定はプログラミングソフトウェア(Control Editor)で行います。詳細は接続機器のマニュアル を参照してください。

手順

- プログラミングソフトウェアを起動し、プロジェクトを作成します。オフラインモードでプロ ジェクトが表示されます。
- 2. [ツール]メニューから[エディタ通信設定]を選択し、通信設定ダイアログボックスを表示しま す。
- 3. 通信設定を接続機器に転送するための通信方法を「USB」、「シリアル」から選択し、[設定]をク リックします。
- 4. USB ケーブルまたはシリアルケーブル(日立産機システム製)でパソコンと接続機器を接続しま す。
- 5. [オンライン]メニューから[モード切替] [オンライン]を選択し、オンラインモードへ移行 します。
- 6. [ツール]メニューから[CPU 設定] [シリアル通信設定]を選択し、通信設定を行います。
- CPU 通信設定(シリアル通信設定)

設定項目	設定
シリアル通信設定	専用
ポート種別	RS422/RS485
通信速度	19.2 kbps
通信手順	手順1(1:n) ¹
局番	表示器で設定した局番を入力してください。 2

1 伝送制御手順2で通信する場合は[手順2(1:n)]を選択します。

2 局番を「なし」に設定すると通信できません。

7. 接続機器の電源を再投入します。

3.35 設定例 35

GP-Pro EX の設定

通信設定

接続	機器1		
概要	Ē		· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·
	メーカー (株)日立産	機システム	シリーズ H シリーズ SIO ポート COM1
	文字列データモード	1 変更	
通伯	言設定		
	通信方式	C RS232C	● RS422/485(2線式) ● RS422/485(4線式)
	通信速度	19200	
	データ長	● 7	C 8
	パリティ	○ なし	 ● 偶数 ○ 奇数
	ストップビット	● 1	© 2
	フロー制御	○ なし	• ER(DTR/CTS) O XON/XOFF
	タイムアウト	3 📫 (*	sec)
	リトライ	2 🔹	
	送信ウェイト	0 📫 ()	ns)
	伝送制御手順	伝送制御手順1	
	RI / VCC	© RI	C VOC
	RS232Cの場合、99	番ピンをRI(入力)に ます。 デジタル製品	するかVCC伝V電源供給) 5232Cアイソレージョンコニッ
	ドを使用する場合は	t、Vooを選択して	(ださい。 初期設定
機器	器別設定		
	接続可能台数 16台		設立
	1 PLC1		====================================

設定画面を表示するには、[接続機器設定]の[機器設定]から設定したい接続機器の 🌇 ([設定]) をクリックします。

💰 個別機都	設定	×
PLC1		
シリーズ シリーズを変更 るアドレスを再	EHV シリーズ 〔した場合は、す〕 確認してください。	▼ でに使用されてい '
号機 No.	D	
		初期設定
	OK(<u>O</u>)	キャンセル

接続機器の設定(CPU ユニット上のシリアルポート)

通信設定はプログラミングソフトウェア(Control Editor)で行います。詳細は接続機器のマニュアル を参照してください。

手順

- プログラミングソフトウェアを起動し、プロジェクトを作成します。オフラインモードでプロ ジェクトが表示されます。
- 2. [ツール]メニューから[エディタ通信設定]を選択し、通信設定ダイアログボックスを表示しま す。
- 3. 通信設定を接続機器に転送するための通信方法を「USB」、「シリアル」から選択し、[設定]をク リックします。
- 4. USB ケーブルまたはシリアルケーブル(日立産機システム製)でパソコンと接続機器を接続しま す。
- 5. [オンライン]メニューから[モード切替] [オンライン]を選択し、オンラインモードへ移行 します。
- 6. [ツール]メニューから[CPU 設定] [シリアル通信設定]を選択し、通信設定を行います。
- CPU 通信設定(シリアル通信設定)

設定項目	設定
シリアル通信設定	専用
ポート種別	RS422/RS485
通信速度	19.2 kbps
通信手順	手順1(1:n) ¹
局番	表示器で設定した局番を入力してください。 ²

1 伝送制御手順2で通信する場合は[手順2(1:n)]を選択します。

2 局番を「なし」に設定すると通信できません。

7. 接続機器の電源を再投入します。

3.36 設定例 36

GP-Pro EX の設定

通信設定

接続	機器1			
概要	Į			接続機器変更
	- メーカー (株)日立産	機システム	シリーズ 旧 シリーズ SIO	
	, 文字列データモード	1 変更	,	,
28/5	-=.~			
2001日		~		
	通信方式	• RS232C	○ RS422/485(2線式) ○ RS422/485(4線式)	
	通信速度	19200	•	
	データ長	€ 7	C 8	
	パリティ	○ なし	 ● 偶数 ○ 奇数 	
	ストップビット	€ 1	C 2	
	フロー制御	○ なし	• ER(DTR/CTS) • XON/XOFF	
	タイムアウト	3 🔅 (sec)	
	リトライ	2 📫		
	送信ウェイト	0 🗄 (ms)	
	伝送制御手順	伝送制御手順1	•	
Γ	RI / VCC	(€ RI	C VCC	
	RS232Cの場合、94	番ピンをRI(入力)は	toth VCC(5V電源供給)	
	- にするかを選択でき - トを使用する場合は	ます。デジタル製R t、VCCを選択して	S232Cアイソレーションユニッ ください。 ちゃまほん エー	
L			*/JAHEQJE	
機器	别設定			
	接続可能台数 16台	100		
	1 PLC1			

設定画面を表示するには、[接続機器設定]の[機器設定]から設定したい接続機器の 🏬([設定]) をクリックします。

💰 個別機器	設定	×
PLC1		
シリーズ シリーズを変更 るアドレスを再	EHV シリーズ 〔した場合は、す 確認してください	▼ でに使用されてい 。
号機 No.	p	÷
		初期設定
	OK(<u>O</u>)	キャンセル

接続機器の設定(EH-SIO)

通信設定は EH-SIO のスイッチで設定を行います。設定後、I/O 割付を行い、接続機器の電源を再投入 して設定内容を有効にします。I/O 割付はラダーソフト(LADDER EDITOR for Windows)で行いま す。

詳細は接続機器のマニュアルを参照してください。

手順

1. EH-SIO のディップスイッチで通信設定を行います。

ディップスイッチ	設定	内容	
01	OFF		
02	ON	通信速度:19,200 bps	
03	ON	その他の伝送速度の設定は、接続機器のマニュアルを参照してください。	
04	ON		
05	OFF	伝送文字構成設定 データ長:7ビット	
06	ON	ストップビット:1ビット	
07	OFF	パリティの種類:偶数	
08	OFF	常時 OFF	

通信設定スイッチ1(ポート1用)

2. 初期設定を行うラダープログラムが必要です。詳細は接続機器のマニュアルを参照してください。

3.37 設定例 37

GP-Pro EX の設定

通信設定

接続	接続機器1				
概要	ŧ			接続機器変更	
	メーカー (株)日立産	機システム	シリーズ H シリーズ SIO	ポート COM1	
	文字列データモード	1 変更			
通信	設定				
	通信方式	RS232C	○ RS422/485(2線式) ○ RS422/485(4線式)		
	通信速度	19200	•		
	データ長	7	○ 8		
	パリティ	○ なし	 ● 偶数 ○ 奇数 		
	ストップビット	● 1	© 2		
	フロー制御	○ なし	ER(DTR/CTS) C XON/XOFF		
	タイムアウト	3 📫 (s	ec)		
	リトライ	2 🔹			
	送信ウェイト	0 📑 (r	ns)		
	伝送制御手順	伝送制御手順1	•		
	RI / VCC	• RI	C VCC		
	RS232Cの場合、9種 にするかを選択でき	番ピンをRI(入力)に ます。デジタル観察	するかVCC(5V電源供給) 2232Cアイハルージョンフェッ		
	トを使用する場合は	L. VCCを選択して	ださい。初期設定		
機器					
	接続可能台数 16台 📷				
	No. 機器名		設定 		

設定画面を表示するには、[接続機器設定]の[機器設定]から設定したい接続機器の 🏬([設定]) をクリックします。

💰 個別機器	設定	×
PLC1		
シリーズ シリーズを変更 るアドレスを再	EHV シリーズ 〔した場合は、す 確認してください	▼ でに使用されてい 。
号機 No.	p	÷
		初期設定
	OK(<u>O</u>)	キャンセル

接続機器の設定(EH-SIO)

通信設定は EH-SIO のスイッチで設定を行います。設定後、I/O 割付を行い、接続機器の電源を再投入 して設定内容を有効にします。I/O 割付はラダーソフト(LADDER EDITOR for Windows)で行いま す。

詳細は接続機器のマニュアルを参照してください。

手順

1. EH-SIO のディップスイッチで通信設定を行います。

ディップスイッチ	設定	内容
01	OFF	
02	ON	通信速度:19,200 bps
03	ON	その他の伝送速度の設定は、接続機器のマニュアルを参照してください。
04	ON	
05	OFF	伝送文字構成設定 データ長:7ビット
06	ON	ストップビット:1 ビット
07	OFF	パリティの種類:偶数
08	OFF	インターフェイス選択:RS232C

通信設定スイッチ2(ポート2用)

2. 初期設定を行うラダープログラムが必要です。詳細は接続機器のマニュアルを参照してください。

3.38 設定例 38

GP-Pro EX の設定

通信設定

接続	機器1			
概	Ē			接続機器変更
	メーカー (株)日立産	機システム	シリーズ H シリーズ SIO	ポート COM1
	文字列データモード	1 変更		
通信	記定			
	通信方式	C RS232C	○ RS422/485(2線式)	
	通信速度	19200	•	
	データ長	• 7	0.8	
	パリティ	○ なし	 ● 偶数 ○ 奇数 	
	ストップビット	⊙ 1	© 2	
	フロー制御	○ なし	• ER(DTR/CTS) C XON/XOFF	
	タイムアウト	3 📫 (s	ec)	
	リトライ	2 📫		
	送信ウェイト) 🗧 🔍	ns)	
	伝送制御手順	伝送制御手順1	×	
	RI / VCC	© RI	O VOC	
	RS232Cの場合、9i にするかを選択でき	野ピンをRI(入力)に ます。デジタル製成	するかVCC(5V電源供給) 5232Cアイバルーションフェッ	
	下を使用する場合は	L. VOOを選択して	(ださい。 初期設定	
機器	翻設定			
	接続可能台数 16台	110	1	
	NO. 1版研名			

設定画面を表示するには、[接続機器設定]の[機器設定]から設定したい接続機器の 🏬([設定]) をクリックします。

💰 個別機都	导設定	×
PLC1		
シリーズ シリーズを変更 るアドレスを再 号称 Ma	EHV シリーズ 〔した場合は、す 確認してください	▼ でに使用されてい 。
-5 1% HU.	р ОК <u>Ф</u>	ーー 初期設定 キャンセル

接続機器の設定(EH-SIO)

通信設定は EH-SIO のスイッチで設定を行います。設定後、I/O 割付を行い、接続機器の電源を再投入 して設定内容を有効にします。I/O 割付はラダーソフト(LADDER EDITOR for Windows)で行いま す。

詳細は接続機器のマニュアルを参照してください。

手順

1. EH-SIO のディップスイッチで通信設定を行います。

ディップスイッチ	設定	内容
01	OFF	
02	ON	通信速度:19,200 bps
03	ON	その他の伝送速度の設定は、接続機器のマニュアルを参照してください。
04	ON	
05	OFF	伝送文字構成設定 データ長:7ビット
06	ON	ストップビット:1 ビット
07	OFF	パリティの種類:偶数
08	ON	インターフェイス選択:RS422/RS485C

通信設定スイッチ2(ポート2用)

2. 初期設定を行うラダープログラムが必要です。詳細は接続機器のマニュアルを参照してください。

3.39 設定例 39

GP-Pro EX の設定

通信設定

接続	機器1		
概要	Ē		· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·
	メーカー (株)日立産	機システム	シリーズ H シリーズ SIO ポート COM1
	文字列データモード	1 変更	
通伯	言設定		
	通信方式	C RS232C	● RS422/485(2線式) ● RS422/485(4線式)
	通信速度	19200	
	データ長	● 7	C 8
	パリティ	○ なし	 ● 偶数 ○ 奇数
	ストップビット	● 1	© 2
	フロー制御	○ なし	• ER(DTR/CTS) O XON/XOFF
	タイムアウト	3 📫 (*	sec)
	リトライ	2 🔹	
	送信ウェイト	0 📫 ()	ns)
	伝送制御手順	伝送制御手順1	
	RI / VCC	© RI	C VOC
	RS232Cの場合、99	番ピンをRI(入力)に ます。 デジタル製品	するかVCC伝V電源供給) 5232Cアイソレーションコニッ
	ドを使用する場合は	t、Vocを選択して	(ださい。 初期設定
機器	器別設定		
	接続可能台数 16台		設立
	1 PLC1		====================================

設定画面を表示するには、[接続機器設定]の[機器設定]から設定したい接続機器の 🏬([設定]) をクリックします。

💰 個別機都	导設定	×
PLC1		
シリーズ シリーズを変更 るアドレスを再	EHV シリーズ した場合は、す 確認してください	▼ でに使用されてい 。
号機 No.	p	÷.
		初期設定
	OK(<u>O</u>)	キャンセル

接続機器の設定(EH-SIO)

通信設定は EH-SIO のスイッチで設定を行います。設定後、I/O 割付を行い、接続機器の電源を再投入 して設定内容を有効にします。I/O 割付はラダーソフト(LADDER EDITOR for Windows)で行いま す。

詳細は接続機器のマニュアルを参照してください。

手順

1. EH-SIO のディップスイッチで通信設定を行います。

ディップスイッチ	設定	内容
01	OFF	
02	ON	通信速度:19,200 bps
03	ON	その他の伝送速度の設定は、接続機器のマニュアルを参照してください。
04	ON	
05	OFF	伝送文字構成設定 データ長:7ビット
06	ON	ストップビット:1 ビット
07	OFF	パリティの種類:偶数
08	ON	インターフェイス選択:RS422/RS485C

通信設定スイッチ2(ポート2用)

2. 初期設定を行うラダープログラムが必要です。詳細は接続機器のマニュアルを参照してください。

3.40 設定例 40

GP-Pro EX の設定

通信設定

接続	接続機器1				
概	Ē.			接続機器変更	
	メーカー (株)日立産	機システム	シリーズ H シリーズ SIO	ポート COM1	
	文字列データモード	<u>1 変更</u>			
通信	言設定				
	通信方式	RS232C	○ RS422/485(2線式) ○ RS422/485(4線式)		
	通信速度	19200	•		
	データ長	€ 7	O 8		
	パリティ	○ なし	○ 偶数 ○ 奇数		
	ストップビット	€ 1	O 2		
	フロー制御	○ なし	ER(DTR/CTS) C XON/XOFF		
	タイムアウト	3 📫 (;	sec)		
	リトライ	2 ÷			
	送信ウェイト	0 ÷ (r	ns)		
	伝送制御手順	伝送制御手順1	v		
	RI / VCC	I RI	○ VCC		
	RS232Cの場合、9i にするかを選択でき	番ピンをRI(入力)に ます。デジタル制度	するかVCC(5V電源供給) 52320アイソルーションコニッ		
	トを使用する場合は	L. VOCを選択して	ください。 初期設定		
機器	器別設定				
	接続可能台数 16台				
	No. 機器名		設定		
	A PLOT				

設定画面を表示するには、[接続機器設定]の[機器設定]から設定したい接続機器の 🏬([設定]) をクリックします。

🏄 個別機都	影定	×
PLC1		
シリーズ シリーズを変更 るアドレスを再	Web コントローき 〔した場合は、す〕 確認してください。	ラシリーズ ▼ でに使用されてい
号機 No.	p	÷
		初期設定
	OK(<u>O</u>)	キャンセル

接続機器の設定(Web コントローラ)

通信設定は接続機器にウェブブラウザでアクセスして行います。詳細は接続機器のマニュアルを参照 してください。

手順

詳細は Web コントローラのマニュアルを参照してください。

1. 接続機器の動作モード設定スイッチを以下のように設定することで、イーサネットポートの仮の IP アドレスが 192.168.0.1 に設定されます。

<動作モード設定スイッチ>

・ディップスイッチ4のみONに設定

- 2. パソコンの Ethernet ポートと Web コントローラの Ethernet ポートを LAN ケーブルで接続します。 (HUB 経由またはクロスケーブルで直接接続します。)
- 3. ウェブブラウザのアドレス入力ボックスに「http://192.168.0.1/mwconfig.cgi」と入力し、接続機器 ヘアクセスします。

アクセスするためには、パソコンの IP アドレスの上位 3 バイトを 192.168.0. に設定する必要があ ります。(192.168.0.10 など)

- 4. 表示された System Configuration Login 画面でログインします。
- 5. 表示された画面の [System Configuration] から [Serial Protocol] [Passive HIProtocol]を選択 し、通信設定を行います。設定後、[SET]をクリックして設定値を確定します。

Serial-Passive HIProtocol

設定項目	設定値
Interface Type	RS232C
Transmission Control Procedure	Procedure1 1:1
Transmission Speed	19.2 kbps
Station No.	0

- 1 伝送制御手順2を使用する場合は[Procedure2 1:1]を選択します。
- 6. 接続機器の動作モード設定スイッチを以下のように設定し、電源を再投入します。

<動作モード設定スイッチ>

・ディップスイッチをすべて OFF に設定

3.41 設定例 41

GP-Pro EX の設定

通信設定

接続機	· []				
概要					接続機器変更
	メーカー (株)日立産権	悪システム	シリーズ 田シ	リーズ SIO	ポート COM1
	文字列データモード	1 <u>変更</u>			
通信	設定				
	通信方式	C RS232C	〇 RS422/485(2線式	代) 💿 RS422/485(4線式)	
:	通信速度	19200	•		
	データ長	⊙ 7	O 8		
	パリティ	○ なし	● 偶数	C 奇数	
	ストップビット	• 1	O 2		
	フロー制御	○ なし	ER(DTR/CTS)	C XON/XOFF	
	タイムアウト	3 📫 (s	ec)		
	リトライ	2 +			
	送信ウェイト	0 📫 (r	ns)		
	伝送制御手順	伝送制御手順1	v		
	RI / VCC	© RI	O VOC		
	RS232Cの場合、9番 にするかを選択でき	まピンをRI(入力)に ます。デジタル製成	するかVCC(5V電源供 5232Cアイソルーションフ	給) 1	
	ドを使用する場合は	、VCCを選択して	ください。	初期設定	
機器	別設定				
	接続可能台数 16台	THE .	EA.		
[NO. 1版 4 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2		 シリーズ=W	/eb コントローラシリーズ	

設定画面を表示するには、[接続機器設定]の[機器設定]から設定したい接続機器の 🏬([設定]) をクリックします。

🏄 個別機都	影定	×
PLC1		
シリーズ シリーズを変更 るアドレスを再	Web コントローラ 〔した場合は、す〕 確認してください。	ラシリーズ ▼ でに使用されてい
号機 No.	p	÷
		初期設定
	OK(<u>O</u>)	キャンセル

接続機器の設定(Web コントローラ)

通信設定は接続機器にウェブブラウザでアクセスして行います。詳細は接続機器のマニュアルを参照 してください。

手順

詳細は Web コントローラのマニュアルを参照してください。

1. 接続機器の動作モード設定スイッチを以下のように設定することで、イーサネットポートの仮の IP アドレスが 192.168.0.1 に設定されます。

<動作モード設定スイッチ>

・ディップスイッチ4のみONに設定

- 2. パソコンの Ethernet ポートと Web コントローラの Ethernet ポートを LAN ケーブルで接続します。 (HUB 経由またはクロスケーブルで直接接続します。)
- 3. ウェブブラウザのアドレス入力ボックスに「http://192.168.0.1/mwconfig.cgi」と入力し、接続機器 ヘアクセスします。

アクセスするためには、パソコンの IP アドレスの上位 3 バイトを 192.168.0. に設定する必要があ ります。(192.168.0.10 など)

- 4. 表示された System Configuration Login 画面でログインします。
- 5. 表示された画面の [System Configuration] から [Serial Protocol] [Passive HIProtocol]を選択 し、通信設定を行います。設定後、[SET]をクリックして設定値を確定します。

Serial-Passive HIProtocol

設定項目	設定値
Interface Type	RS-422/485
Transmission Control Procedure	Procedure1 1:1
Transmission Speed	19.2 kbps
Station No.	0

- 1 伝送制御手順2を使用する場合は[Procedure2 1:1]を選択します。
- 6. 接続機器の動作モード設定スイッチを以下のように設定し、電源を再投入します。

<動作モード設定スイッチ>

・ディップスイッチをすべて OFF に設定

3.42 設定例 42

GP-Pro EX の設定

通信設定

接続機器1	
概要	<u>接続機器変更</u>
メーカー (株)日立産機システム	シリーズ [H シリーズ SIO ポート [COM1
文字列データモード 1 変更	
通信設定	
通信方式 O RS232C O RS	5422/485(2線式) C R S 422/485(4線式)
通信速度 19200 💌	1
データ長 💿 7 💿 8	
パリティ 〇なし 🔍 偶	数 〇 奇数
ストップビット 💿 1 💿 2	
フロー制御 🔿 なし 💿 EF	(DTR/CTS) O XON/XOFF
タイムアウト 3 📑 (sec)	
リトライ 2 🛨	
送信ウェイト 🛛 📑 (ms)	
伝送制御手順 伝送制御手順1 💌	
RS232Cの場合、9番ビンをRI(入力)にするかい にするかを避視できます。デジタル制度529207	/00/5/電源供給) 2/11-51-51-51-51
トを使用する場合は、VCCを選択してください。	インレーションエニック
機器別設定	
接続可能台数 16台 📷	
No. 機器名	設定

設定画面を表示するには、[接続機器設定]の[機器設定]から設定したい接続機器の 🏬([設定]) をクリックします。

💰 個別機都	設定	×
PLC1		
シリーズ シリーズを変更 るアドレスを再	Web コントローラ 〔した場合は、すて 確認してください。	シリーズ ▼ 『に使用されてい
号機 No.	D	÷
		初期設定
	OK(<u>O</u>)	キャンセル

接続機器の設定(Web コントローラ)

通信設定は接続機器にウェブブラウザでアクセスして行います。詳細は接続機器のマニュアルを参照 してください。

手順

詳細は Web コントローラのマニュアルを参照してください。

1. 接続機器の動作モード設定スイッチを以下のように設定することで、イーサネットポートの仮の IP アドレスが 192.168.0.1 に設定されます。

<動作モード設定スイッチ>

・ディップスイッチ4のみONに設定

- 2. パソコンの Ethernet ポートと Web コントローラの Ethernet ポートを LAN ケーブルで接続します。 (HUB 経由またはクロスケーブルで直接接続します。)
- 3. ウェブブラウザのアドレス入力ボックスに「http://192.168.0.1/mwconfig.cgi」と入力し、接続機器 ヘアクセスします。

アクセスするためには、パソコンの IP アドレスの上位 3 バイトを 192.168.0. に設定する必要があ ります。(192.168.0.10 など)

- 4. 表示された System Configuration Login 画面でログインします。
- 5. 表示された画面の [System Configuration] から [Serial Protocol] [Passive HIProtocol]を選択 し、通信設定を行います。設定後、[SET]をクリックして設定値を確定します。

Serial-Passive HIProtocol

設定項目	設定値
Interface Type	RS-422/485
Transmission Control Procedure	Procedure1 1:1
Transmission Speed	19.2 kbps
Station No.	0

- 1 伝送制御手順2を使用する場合は[Procedure2 1:1]を選択します。
- 6. 接続機器の動作モード設定スイッチを以下のように設定し、電源を再投入します。

<動作モード設定スイッチ>

・ディップスイッチをすべて OFF に設定

4 設定項目

表示器の通信設定は GP-Pro EX、または表示器のオフラインモードで設定します。 各項目の設定は接続機器の設定と一致させる必要があります。

4.1 GP-Pro EX での設定項目

通信設定

設定画面を表示するには、ワークスペースの[システム設定ウィンドウ]から[接続機器設定]を選択 します。

接続機器1	
概要	接続機器変更
メーカー 「(株)日立産機システム ジリーズ 「H シリーズ SIO	ポート COM1
文字列データモード 1 変更	
通信設定	
通信方式	
通信速度 19200 🔹	
データ長 ◎ 7 ○ 8	
パリティ 〇 なし ④ 偶数 〇 奇数	
ストップビット 🔍 1 🔿 2	
フロー制御 〇 なし ④ ER(DTR/CTS) 〇 XON/XOFF	
タイムアウト 3 芸 (sec)	
UF51 2 😳	
· 送信ウェイト 0 宗 (ms)	
伝送制御手順 伝送制御手順1 ▼	
RS232Cの場合、9番ビンをRI(入力)にするかVOC(5V電源供給)	
にするかを選択できます。テンダル製A32320アイシレーションユニットを使用する場合は、VCOを選択してください。 初期設定	
接続可能台数 16台 📊	
No. 機器名 設定 設定	

設定項目	設定内容
通信方式	接続機器と通信する通信方式を選択します。
通信速度	接続機器と表示器間の通信速度を選択します。
データ長	データ長を選択します。
パリティ	パリティチェックの方法を選択します。
ストップビット	ストップビット長を選択します。
フロー制御	送受信データのオーバーフローを防ぐために行う通信制御の方式を選択します。
タイムアウト	表示器が接続機器からの応答を待つ時間(s)を「1 ~ 127」で入力します。

次のページに続きます。

設定項目	設定内容
リトライ	接続機器からの応答がない場合に、表示器がコマンドを再送信する回数を「0~ 255」で入力します。
送信ウェイト	表示器がパケットを受信してから、次のコマンドを送信するまでの待機時間 (ms)を「0 ~ 255」で入力します。
伝送制御手順	接続機器の伝送制御手順を選びます。
RI/VCC	通信方式で RS232C を選択した場合に、9 番ピンの RI/VCC を切り替えます。 IPC と接続する場合は IPC の切替スイッチで RI/5V を切り替える必要がありま す。詳細は IPC のマニュアルを参照してください。

設定画面を表示するには、[接続機器設定]の[機器別設定]から設定したい接続機器の 🌇 ([設定]) をクリックします。

複数の接続機器を接続する場合は、[接続機器設定]の[機器別設定]から 🏬 をクリックすること で、接続機器を増やすことができます。

💰 個別機制	导設定	×
PLC1		
シリーズ シリーズを変更 るアドレスを再	H シリーズ 回した場合は、す 確認してください	▼ でに使用されてい [\] 。
号機 No.	p	<u> </u>
		初期設定
	0K(<u>0</u>)	キャンセル

設定項目	設定内容
シリーズ	接続機器の種類を選択します。
号機 No.	接続機器の号機 No. を入力します。

4.2 オフラインモードでの設定

通信設定

設定画面を表示するには、オフラインモードの[周辺機器設定]から[接続機器設定]をタッチしま す。表示された一覧から設定したい接続機器をタッチします。



設定項目	設定内容
	接続機器と通信する通信方式を選択します。
通信方式	重要 通信設定を行う場合、[通信方式]は表示器のシリアルインターフェイスの仕様 を確認し、正しく設定してください。シリアルインターフェイスが対応していな い通信方式を選択した場合の動作は保証できません。シリアルインターフェイス の仕様については表示器のマニュアルを参照してください。
通信速度	接続機器と表示器間の通信速度を選択します。
データ長	データ長を選択します。
パリティ	パリティチェックの方法を選択します。
ストップビット	ストップビット長を選択します。
フロー制御	送受信データのオーバーフローを防ぐために行う通信制御の方式を選択します。
タイムアウト	表示器が接続機器からの応答を待つ時間(s)を「1 ~ 127」で入力します。

設定項目	設定内容
リトライ	接続機器からの応答がない場合に、表示器がコマンドを再送信する回数を「0~ 255」で入力します。
送信ウェイト	表示器がパケットを受信してから、次のコマンドを送信するまでの待機時間 (ms)を「0 ~ 255」で入力します。
伝送制御手順	接続機器の伝送制御手順を選びます。

設定画面を表示するには、[周辺機器設定]から[接続機器設定]をタッチします。表示された一覧から設定したい接続機器をタッチし、[機器設定]をタッチします。

通信設定	機器設定	オプション		
H シリーズ SIO 接続	機器名 PLC	1	[COM1]	Page 1/1
	¢⊐"			
	シリース 号機 No.		0 🔻 🔺	1
		·		0000/05/15
	終了		戻る	11:30:52

設定項目	設定内容
接続機器名	設定する接続機器を選択します。接続機器名は GP-Pro EX で設定する接続機器の 名称です。(初期値 [PLC1])
シリーズ	接続機器の種類を表示します。
号機 No.	接続機器の号機 No. を入力します。

オプション

設定画面を表示するには、[周辺機器設定]から[接続機器設定]をタッチします。表示された一覧から設定したい接続機器をタッチし、[オプション]をタッチします。



設定項目	設定内容
RI/VCC	9番ピンの RI/VCC を切り替えます。 IPC と接続する場合は IPC の切替スイッチで RI/5V を切り替える必要がありま す。詳細は IPC のマニュアルを参照してください。

5 結線図

以下に示す結線図と日立産機システムが推奨する結線図が異なる場合がありますが、本書に示す結線 図でも動作上問題ありません。

- 接続機器本体の FG 端子は D 種接地を行ってください。詳細は接続機器のマニュアルを参照して ください。
- 表示器内部で SG と FG は接続されています。接続機器と SG を接続する場合は短絡ループが形成 されないようにシステムを設計してください。
- ノイズなどの影響で通信が安定しない場合はアイソレーションユニットを接続してください。

結線図 1

表示器 (接続ポート)		ケーブル ¹	備考
GP (COM1) ST (COM1) IPC ² PC/AT	Α	(株)日立産機システム製 WVCB02H	ケーブル星・
	В	自作ケーブル 1	15m 以内
	С	自作ケーブル 2	

1 通信速度によって配線を変更する必要があります。

2 RS-232C で通信できる COM ポートのみ使用できます。 『『 IPC の COM ポートについて (7ページ)

	H-200 H-250 H-252B		H-252C		H-300/H-302 H-700/H-702 H-2000/H-2002		H-4010		
	通信速度	配線	通信速度	配線	通信速度	配線	通信速度	配線	
ペリフェラル ポート 1 あるいは シリアルポート 1	2400bps 4800bps 9600bps	B 2400bps 4800bps	2400bps 4800bps	A B	4800bps	В	4800bps	В	
	19200bps	A C	96008ps 19200bps	96006ps 19200bps	90000ps 19200bps	С	19200bps	А	19200bps
					172000p3	С	38400bps	A,B,C	
ペリフェラル			4800bps	В			4800bps	В	
ポート 2 あるいは シリアルポート 2	-	-	10000	А	-	-	19200bps	A, C	
			19200bps	С			38400bps	A,B,C	

A. (株)日立産機システム製 WVCB02H (2m)を使用する場合



B. 自作ケーブル1を使用する場合

表示器側 D-Sub 9ピン(ソケット)				接続 D-Sul	機器側 o 15ピン	
	ピン	信号名		ピン	信号名	
	2	RD(RXD)		2	SD	
表示器	3	SD(TXD)		3	RD	
	6	DR(DSR)		5	CS	
	4	ER(DTR)		7	DR	μ
	5	SG		9	SG	
	7	RS(RTS)		8	PHL	
	8	CS(CTS)	← ↓ ↓ ↓ ↓ ↓ ↓ ↓ ↓ ↓ ↓ ↓ ↓ ↓ ↓ ↓ ↓ ↓ ↓ ↓	4	RS	
	シェル	FG	<u>_</u>	14	PV12	

C. 自作ケーブル2を使用する場合

[表 ン-Sub 9ピン	示器側 ン (ソケット)	接続 D-Sul	機器側 o 15ピン	
	ピン	信号名		ピン	信号名	
	2	RD(RXD)		2	SD	
表示器	3	SD(TXD)		3	RD	
	6	DR(DSR)		5	CS	
	4	ER(DTR)		7	DR	μ
	5	SG		9	SG	
	7	RS(RTS)		8	PHL	
	8	CS(CTS)		4	RS	
	シェル	FG	<u>├──`</u>	14	PV12	μ

結線図 2

表示器 (接続ポート)	ケーブル	備考
GP ¹ (COM1) AGP-3302B (COM2) ST ² (COM2) IPC ³	 (株)デジタル製 COM ポート変換アダプタ CA3-ADPCOM-01 + (株)デジタル製コネクタ端子台変換アダプ CA3-ADPTRM-01 + 自作ケーブル 	, 夕
	3 自作ケーブル	
GP ⁴ (COM2)	 (株)デジタル製オンラインアダプタ CA4-ADPONL-01 + (株)デジタル製コネクタ端子台変換アダプ CA3-ADPTRM-01 + 自作ケーブル 	ケーブル長: 250m 以内 タ
	 (株)デジタル製オンラインアダプタ CA4-ADPONL-01 + 自作ケーブル 	

1 AGP-3302B 除く全 GP 機種

2 AST-3211A 除く全 ST 機種

- 4 GP-3200 シリーズおよび AGP-3302B を除く全 GP 機種
 - A. (株) デジタル製 COM ポート変換アダプタ (CA3-ADPCOM-01) (株) デジタル製コネクタ端子
 台変換アダプタ (CA3-ADPTRM-01) および自作ケーブルを使用する場合
 - 1:1 接続の場合



1:n 接続の場合



B. 自作ケーブルを使用する場合

1:1 接続の場合



1:n 接続の場合



C.(株)デジタル製オンラインアダプタ (CA4-ADPONL-01)、(株)デジタル製コネクタ端子台変換ア ダプタ (CA3-ADPTRM-01) および自作ケーブルを使用する場合

1:1 接続の場合



1:n 接続の場合



- D.(株)デジタル製オンラインアダプタ (CA4-ADPONL-01) および自作ケーブルを使用する場合
- 1:1 接続の場合



1:n 接続の場合





結線図 3

表示器 (接続ポート)		ケーブル ¹	備考
GP (COM1) ST (COM1) IPC ² PC/AT	А	(株)日立産機システム製 EH-VCB02(2m)	
	В	(株)日立産機システム製 WVCB02H(2m) + (株)日立産機システム製変換ケーブル EH-RS05(0.5m)	ケーブル 目・
	С	自作ケーブル 1 + (株)日立産機システム製変換ケーブル EH-RS05(0.5m)	クークル長: 15m 以内
	D	自作ケーブル 2 + (株)日立産機システム製変換ケーブル EH-RS05(0.5m)	

1 通信速度によって配線を変更する必要があります。

	EH-150	
	通信速度	配線
ペリフェラル	4800bps	А
ポート 1	9600bps	В
あるいは	19200bps	С
シリアルポート 1	38400bps	D
ペリフェラル	4800bps	А
ポート 2	9600bps	С
あるいは	19200bps	В
シリアルポート 2	38400bps	D

- 2 RS-232C で通信できる COM ポートのみ使用できます。
 ③ IPC の COM ポートについて (7ページ)
 - A.(株)日立産機システム製ケーブル(EH-VCB02)を使用する場合



B. (株)日立産機システム製ケーブル(WVCB02H)および(株)日立産機システム製変換ケーブル (EH-RS05)を使用する場合



C. 自作ケーブル1および(株)日立産機システム製変換ケーブル(EH-RS05)を使用する場合



D. 自作ケーブル2および(株)日立産機システム製変換ケーブル(EH-RS05)を使用する場合



結線図 4

表示器 (接続ポート)		ケーブル	備考
GP ¹ (COM1) AGP-3302B (COM2) ST ² (COM2) IPC ³	А	 (株)デジタル製 COM ポート変換アダプタ CA3-ADPCOM-01	ケーブル長: 500m 以内
	В	自作ケーブル + (株)日立産機システム製変換ケーブル EH-RS05	
GP ⁴ (COM2)	С	 (株)デジタル製オンラインアダプタ CA4-ADPONL-01	
	D	 (株)デジタル製オンラインアダプタ CA4-ADPONL-01 + 自作ケーブル + (株)日立産機システム製変換ケーブル EH-RS05 	

1 AGP-3302B 除く全 GP 機種

2 AST-3211A 除く全 ST 機種

3 RS-422/485(4 線式) で通信できる COM ポートのみ使用できます。 『 IPC の COM ポートについて (7ページ)

4 GP-3200 シリーズおよび AGP-3302B を除く全 GP 機種
- A. (株) デジタル製 COM ポート変換アダプタ(CA3-ADPCOM-01)(株) デジタル製コネクタ端子
 台変換アダプタ(CA3-ADPTRM-01) 自作ケーブルおよび(株)日立産機システム製変換ケーブ
 ル(EH-RS05)を使用する場合
- 1:1 接続の場合



1:n 接続の場合



*終端抵抗については、(株)日立産機システムにお問い合わせください。

B. 自作ケーブルおよび(株)日立産機システム製変換ケーブル(EH-RS05)を使用する場合

1:1 接続の場合



1:n 接続の場合



*終端抵抗については、(株)日立産機システムにお問い合わせください。

- C.(株)デジタル製オンラインアダプタ(CA4-ADPONL-01)、(株)デジタル製コネクタ端子台変換ア ダプタ(CA3-ADPTRM-01)、自作ケーブルおよび(株)日立産機システム製変換ケーブル(EH-RS05)を使用する場合
- 1:1 接続の場合



1:n 接続の場合



*終端抵抗については、(株)日立産機システムにお問い合わせください。

D.(株)デジタル製オンラインアダプタ (CA4-ADPONL-01)、自作ケーブルおよび(株)日立産機シ ステム製変換ケーブル(EH-RS05)を使用する場合

1:1 接続の場合



1:n 接続の場合



*終端抵抗については、(株)日立産機システムにお問い合わせください。

結線図 5

表示器 (接続ポート)		ケーブル	備考
GP ¹ (COM1) AGP-3302B (COM2) ST ² (COM2)	А	 (株)デジタル製 COM ポート変換アダプタ CA3-ADPCOM-01	
	В	自作ケーブル + (株)日立産機システム製変換ケーブル EH-RS05	
GP ³ (COM2)	С	 (株)デジタル製オンラインアダプタ CA4-ADPONL-01	ケーブル長: 500m 以内
	D	 (株)デジタル製オンラインアダプタ CA4-ADPONL-01 + 自作ケーブル + (株)日立産機システム製変換ケーブル EH-RS05 	
IPC ⁴	Е	 (株)デジタル製 COM ポート変換アダプタ CA3-ADPCOM-01	
	F	自作ケーブル + (株)日立産機システム製変換ケーブル EH-RS05	

1 AGP-3302B を除く全 GP 機種

2 AST-3211A を除く全 ST 機種

3 GP-3200 シリーズおよび AGP-3302B を除く全 GP 機種

_____ GP-Pro EX 機器接続マニュアル

- 4 RS-422/485(2 線式) で通信できる COM ポートのみ使用できます。 ^(分) IPC の COM ポートについて (7ページ)
 - A. (株)デジタル製 COM ポート変換アダプタ (CA3-ADPCOM-01) (株)デジタル製コネクタ端子
 台変換アダプタ (CA3-ADPTRM-01) 自作ケーブルおよび (株)日立産機システム製変換ケーブ
 ル (EH-RS05)を使用する場合
 - 1:1 接続の場合





B. 自作ケーブルおよび(株)日立産機システム製変換ケーブル(EH-RS05)を使用する場合

1:1 接続の場合





 C.(株)デジタル製オンラインアダプタ(CA4-ADPONL-01)、(株)デジタル製コネクタ端子台変換ア ダプタ(CA3-ADPTRM-01)、自作ケーブルおよび(株)日立産機システム製変換ケーブル(EH-RS05)を使用する場合

1:1 接続の場合





D.(株)デジタル製オンラインアダプタ (CA4-ADPONL-01)、自作ケーブルおよび(株)日立産機シ ステム製変換ケーブル(EH-RS05)を使用する場合

1:1 接続の場合



1:n 接続の場合



自作ケーブル

- E. (株) デジタル製 COM ポート変換アダプタ(CA3-ADPCOM-01)(株) デジタル製コネクタ端子 台変換アダプタ(CA3-ADPTRM-01) 自作ケーブルおよび(株)日立産機システム製変換ケーブ ル(EH-RS05)を使用する場合
- 1:1 接続の場合



1:n 接続の場合



*終端抵抗については、(株)日立産機システムにお問い合わせください。

F. 自作ケーブルおよび(株)日立産機システム製変換ケーブル(EH-RS05)を使用する場合

1:1 接続の場合





結線図 6

表示器 (接続ポート)	ケーブル	備考
GP ¹ (COM1) AGP-3302B (COM2) ST ² (COM2) IPC ³	 (株)デジタル製 COM ポート変換アダプタ CA3-ADPCOM-01	
	B 自作ケーブル	
GP ⁴ (COM2)	 (株)デジタル製オンラインアダプタ CA4-ADPONL-01	ケーブル長: 500m 以内
	D (株)デジタル製オンラインアダプタ CA4-ADPONL-01 + 自作ケーブル	

1 AGP-3302B 除く全 GP 機種

2 AST-3211A 除く全 ST 機種

3 RS-422/485(4 線式) で通信できる COM ポートのみ使用できます。 『ア IPC の COM ポートについて (7ページ)

4 GP-3200 シリーズおよび AGP-3302B を除く全 GP 機種

- A. (株) デジタル製 COM ポート変換アダプタ (CA3-ADPCOM-01) (株) デジタル製コネクタ端子 台変換アダプタ (CA3-ADPTRM-01) および自作ケーブルを使用する場合
- 1:1 接続の場合



• 1:n 接続の場合



自作ケーブル

B. 自作ケーブルを使用する場合

1:1 接続の場合





C. (株) デジタル製オンラインアダプタ (CA4-ADPONL-01)、(株) デジタル製コネクタ端子台変換ア ダプタ (CA3-ADPTRM-01) および自作ケーブルを使用する場合

1:1 接続の場合



• 1:n 接続の場合



自作ケーブル

D.(株) デジタル製オンラインアダプタ (CA4-ADPONL-01) および自作ケーブルを使用する場合

1:1 接続の場合





結線図 7

表示器 (接続ポート)	ケーブル		備考
GP ¹ (COM1) AGP-3302B (COM2) ST ² (COM2)	А	(株)デジタル製 COM ポート変換アダプタ CA3-ADPCOM-01 + (株)デジタル製コネクタ端子台変換アダプタ CA3-ADPTRM-01 + 自作ケーブル	
	В	自作ケーブル	
GP ³ (COM2)	С	 (株)デジタル製オンラインアダプタ CA4-ADPONL-01 (株)デジタル製コネクタ端子台変換アダプタ CA3-ADPTRM-01 + 自作ケーブル 	ケーブル長: 500m 以内
	D	(株)デジタル製オンラインアダプタ CA4-ADPONL-01 + 自作ケーブル	
IPC ⁴	E	 (株)デジタル製 COM ポート変換アダプタ CA3-ADPCOM-01 (株)デジタル製コネクタ端子台変換アダプタ CA3-ADPTRM-01 + 自作ケーブル 	
	F	自作ケーブル	

1 AGP-3302B を除く全 GP 機種

2 AST-3211A を除く全 ST 機種

3 GP-3200 シリーズおよび AGP-3302B を除く全 GP 機種

- A. (株) デジタル製 COM ポート変換アダプタ (CA3-ADPCOM-01) (株) デジタル製コネクタ端子 台変換アダプタ (CA3-ADPTRM-01) および自作ケーブルを使用する場合
- 1:1 接続の場合





B. 自作ケーブルを使用する場合

1:1 接続の場合





C. (株) デジタル製オンラインアダプタ (CA4-ADPONL-01)、(株) デジタル製コネクタ端子台変換ア ダプタ (CA3-ADPTRM-01) および自作ケーブルを使用する場合

1:1 接続の場合



• 1:n 接続の場合



自作ケーブル

D.(株) デジタル製オンラインアダプタ (CA4-ADPONL-01) および自作ケーブルを使用する場合

1:1 接続の場合





- E.(株)デジタル製 COM ポート変換アダプタ(CA3-ADPCOM-01)(株)デジタル製コネクタ端子
 台変換アダプタ(CA3-ADPTRM-01)および自作ケーブルを使用する場合
- 1:1 接続の場合



自作ケーブル



自作ケーブル

F. 自作ケーブルを使用する場合

1:1 接続の場合





結線図 8

表示器 (接続ポート)		ケーブル	備考
GP ¹ (COM1) AGP-3302B (COM2) ST ² (COM2) IPC ³	А	 (株)デジタル製 COM ポート変換アダプタ CA3-ADPCOM-01	ケーブル長: 250m 以内
	В	自作ケーブル	
GP ⁴ (COM2)	С	 (株)デジタル製オンラインアダプタ CA4-ADPONL-01 + (株)デジタル製コネクタ端子台変換アダプタ CA3-ADPTRM-01 + 自作ケーブル 	
	D	(株)デジタル製オンラインアダプタ CA4-ADPONL-01 + 自作ケーブル	

1 AGP-3302B 除く全 GP 機種

2 AST-3211A 除く全 ST 機種

- 4 GP-3200 シリーズおよび AGP-3302B を除く全 GP 機種
 - A. (株) デジタル製 COM ポート変換アダプタ (CA3-ADPCOM-01) (株) デジタル製コネクタ端子
 台変換アダプタ (CA3-ADPTRM-01) および自作ケーブルを使用する場合
 - 1:1 接続の場合



1:n 接続の場合



- B. 自作ケーブルを使用する場合
- 1:1 接続の場合





C. (株) デジタル製オンラインアダプタ (CA4-ADPONL-01)、(株) デジタル製コネクタ端子台変換ア ダプタ (CA3-ADPTRM-01) および自作ケーブルを使用する場合

1:1 接続の場合



自作ケーブル

1:n 接続の場合



D.(株)デジタル製オンラインアダプタ (CA4-ADPONL-01) および自作ケーブルを使用する場合

1:1 接続の場合





- - -	-Ť.u
日作ケー	- ノル

結線図 9

表示器 (接続ポート)		ケーブル	備考
GP ¹ (COM1) AGP-3302B (COM2) ST ² (COM2)	A	(株)デジタル製 COM ポート変換アダプタ CA3-ADPCOM-01 + (株)デジタル製コネクタ端子台変換アダプタ CA3-ADPTRM-01 + 自作ケーブル	
	В	自作ケーブル	
GP ³ (COM2)	С	 (株)デジタル製オンラインアダプタ CA4-ADPONL-01 + (株)デジタル製コネクタ端子台変換アダプタ CA3-ADPTRM-01 + 自作ケーブル 	ケーブル長: 250m 以内
	D	(株)デジタル製オンラインアダプタ CA4-ADPONL-01 + 自作ケーブル	
IPC ⁴	E	(株)デジタル製 COM ポート変換アダプタ CA3-ADPCOM-01 + (株)デジタル製コネクタ端子台変換アダプタ CA3-ADPTRM-01 + 自作ケーブル	
	F	自作ケーブル	

1 AGP-3302B を除く全 GP 機種

2 AST-3211A を除く全 ST 機種

3 GP-3200 シリーズおよび AGP-3302B を除く全 GP 機種

4 RS-422/485(2 線式) で通信できる COM ポートのみ使用できます。 ^{② ■} IPC の COM ポートについて (7 ページ)

- A.(株) デジタル製 COM ポート変換アダプタ(CA3-ADPCOM-01)(株) デジタル製コネクタ端子 台変換アダプタ(CA3-ADPTRM-01)および自作ケーブルを使用する場合
- 1:1 接続の場合





- B. 自作ケーブルを使用する場合
- 1:1 接続の場合



1:n 接続の場合



C. (株) デジタル製オンラインアダプタ (CA4-ADPONL-01)、(株) デジタル製コネクタ端子台変換ア ダプタ (CA3-ADPTRM-01) および自作ケーブルを使用する場合

1:1 接続の場合





D.(株)デジタル製オンラインアダプタ(CA4-ADPONL-01)および自作ケーブルを使用する場合

1:1 接続の場合



自作ケーブル



- E. (株) デジタル製 COM ポート変換アダプタ (CA3-ADPCOM-01) (株) デジタル製コネクタ端子
 台変換アダプタ (CA3-ADPTRM-01) および自作ケーブルを使用する場合
- 1:1 接続の場合



• 1:n 接続の場合



- F. 自作ケーブルを使用する場合
- 1:1 接続の場合





結線図 10

表示器 (接続ポート)	ケーブル	備考
GP ¹ (COM1) AGP-3302B (COM2) ST ² (COM2) IPC ³	 (株)デジタル製 COM ポート変換アダプタ CA3-ADPCOM-01 + (株)デジタル製コネクタ端子台変換アダプタ CA3-ADPTRM-01 + 自作ケーブル 	
	B 自作ケーブル	
GP ⁴ (COM2)	 (株)デジタル製オンラインアダプタ CA4-ADPONL-01	ケーブル長: 500m 以内
	D (株)デジタル製オンラインアダプタ CA4-ADPONL-01 + 自作ケーブル	

1 AGP-3302B 除く全 GP 機種

2 AST-3211A 除く全 ST 機種

- 3 RS-422/485(4 線式) で通信できる COM ポートのみ使用できます。 「ア IPC の COM ポートについて (7ページ)
- 4 GP-3200 シリーズおよび AGP-3302B を除く全 GP 機種
 - A. (株) デジタル製 COM ポート変換アダプタ (CA3-ADPCOM-01) (株) デジタル製コネクタ端子
 台変換アダプタ (CA3-ADPTRM-01) および自作ケーブルを使用する場合
 - 1:1 接続の場合



• 1:n 接続の場合



- B. 自作ケーブルを使用する場合
- 1:1 接続の場合





C.(株)デジタル製オンラインアダプタ (CA4-ADPONL-01)、(株)デジタル製コネクタ端子台変換ア ダプタ (CA3-ADPTRM-01) および自作ケーブルを使用する場合

1:1 接続の場合



1:n 接続の場合



D.(株)デジタル製オンラインアダプタ (CA4-ADPONL-01) および自作ケーブルを使用する場合
 1:1 接続の場合





自作ケー	ブル
------	----

結線図 11

表示器 (接続ポート)		ケーブル	備考
GP ¹ (COM1) AGP-3302B (COM2) ST ² (COM2)	А	(株)デジタル製 COM ポート変換アダプタ CA3-ADPCON-01 + (株)デジタル製コネクタ端子台変換アダプタ CA3-ADPTRM-01 + 自作ケーブル	
	В	自作ケーブル	
GP ³ (COM2)	С	 (株)デジタル製オンラインアダプタ CA4-ADPONL-01 + (株)デジタル製コネクタ端子台変換アダプタ CA3-ADPTRM-01 + 自作ケーブル 	ケーブル長: 500m 以内
	D	(株)デジタル製オンラインアダプタ CA4-ADPONL-01 + 自作ケーブル	
IPC ⁴	E	 (株)デジタル製 COM ポート変換アダプタ CA3-ADPCOM-01 (株)デジタル製コネクタ端子台変換アダプタ CA3-ADPTRM-01 + 自作ケーブル 	
	F	自作ケーブル	

1 AGP-3302B を除く全 GP 機種

2 AST-3211A を除く全 ST 機種

3 GP-3200 シリーズおよび AGP-3302B を除く全 GP 機種
A. (株) デジタル製 COM ポート変換アダプタ (CA3-ADPCOM-01)、(株) デジタル製コネクタ端子台 変換アダプタ (CA3-ADPTRM-01) および自作ケーブルを使用する場合

1:1 接続の場合



1:n 接続の場合



自作ケーブル

- B. 自作ケーブルを使用する場合
- 1:1 接続の場合



• 1:n 接続の場合



C.(株)デジタル製オンラインアダプタ (CA4-ADPONL-01)、(株)デジタル製コネクタ端子台変換ア ダプタ (CA3-ADPTRM-01) および自作ケーブルを使用する場合

1:1 接続の場合





D.(株) デジタル製オンラインアダプタ (CA4-ADPONL-01) および自作ケーブルを使用する場合

1:1 接続の場合





E. (株) デジタル製 COM ポート変換アダプタ (CA3-ADPCOM-01)、(株) デジタル製コネクタ端子台 変換アダプタ (CA3-ADPTRM-01) および自作ケーブルを使用する場合

1:1 接続の場合



自作ケーブル



F. 自作ケーブルを使用する場合

1:1 接続の場合





結線図 12

表示器 (接続ポート)	ケーブル	備考
GP (COM1) ST (COM1) IPC ¹ PC/AT	自作ケーブル + (株)日立産機システム製変換ケーブル EH-RS05(0.5m)	ケーブル長: 15m 以内

RS-232C で通信できる COM ポートのみ使用できます。
 IPC の COM ポートについて (7ページ)

(株)日立産機システム製ケーブル(EH-RS05)を使用する場合



結線図 13

表示器 (接続ポート)	ケーブル	備考
GP ¹ (COM1) AGP-3302B (COM2) ST ² (COM2) IPC ³	 (株)デジタル製 COM ポート変換アダプタ CA3-ADPCOM-01 + (株)デジタル製コネクタ端子台変換アダプタ CA3-ADPTRM-01 + 自作ケーブル 	
	B 自作ケーブル	
GP ⁴ (COM2)	 (株)デジタル製オンラインアダプタ CA4-ADPONL-01	ケーブル長: 500m 以内
	 (株)デジタル製オンラインアダプタ CA4-ADPONL-01 + 自作ケーブル 	

1 AGP-3302B 除く全 GP 機種

2 AST-3211A 除く全 ST 機種

- 3 RS-422/485(4 線式) で通信できる COM ポートのみ使用できます。 「ア IPC の COM ポートについて (7ページ)
- 4 GP-3200 シリーズおよび AGP-3302B を除く全 GP 機種
 - A. (株) デジタル製 COM ポート変換アダプタ (CA3-ADPCOM-01) (株) デジタル製コネクタ端子
 台変換アダプタ (CA3-ADPTRM-01) および自作ケーブルを使用する場合
 - 1:1 接続の場合



1:n 接続の場合



GP-Pro EX 機器接続マニュアル

B. 自作ケーブルを使用する場合

1:1 接続の場合



• 1:n 接続の場合



挿入してください。

C. (株) デジタル製オンラインアダプタ (CA4-ADPONL-01)、(株) デジタル製コネクタ端子台変換ア ダプタ (CA3-ADPTRM-01) および自作ケーブルを使用する場合

1:1 接続の場合



1:n 接続の場合



 ● 接続の終端となる接続機器のディップスイッチ1を ON にして終端抵抗 (100Ω) を 挿入してください。 D.(株)デジタル製オンラインアダプタ(CA4-ADPONL-01)および自作ケーブルを使用する場合

1:1 接続の場合





結線図 14

表示器 (接続ポート)		ケーブル	備考	
GP ¹ (COM1) AGP-3302B (COM2) ST ² (COM2)	А	(株)デジタル製 COM ポート変換アダプタ CA3-ADPCOM-01 + (株)デジタル製コネクタ端子台変換アダプタ CA3-ADPTRM-01 + 自作ケーブル		
	В	自作ケーブル		
GP ³ (COM2)	С	 (株)デジタル製オンラインアダプタ CA4-ADPONL-01 + (株)デジタル製コネクタ端子台変換アダプタ CA3-ADPTRM-01 + 自作ケーブル 	ケーブル長: 500m 以内	
	D	(株)デジタル製オンラインアダプタ CA4-ADPONL-01 + 自作ケーブル		
IPC ⁴	E	 (株)デジタル製 COM ポート変換アダプタ CA3-ADPCOM-01 + (株)デジタル製コネクタ端子台変換アダプタ CA3-ADPTRM-01 + 自作ケーブル 		
	F	自作ケーブル		

1 AGP-3302B を除く全 GP 機種

2 AST-3211A を除く全 ST 機種

3 GP-3200 シリーズおよび AGP-3302B を除く全 GP 機種

- A. (株) デジタル製 COM ポート変換アダプタ (CA3-ADPCOM-01)、(株) デジタル製コネクタ端子台 変換アダプタ (CA3-ADPTRM-01) および自作ケーブルを使用する場合
- 1:1 接続の場合



1:n 接続の場合



● 接続の終端となる接続機器のディップスイッチ1を ON にして終端抵抗 (100Ω) を 挿入してください。

- B. 自作ケーブルを使用する場合
- 1:1 接続の場合





МЕМО	•	接続の終端となる接続機器のディップスイッチ1を ON にして終端抵抗 (100Ω) を
		挿入してください。

 C. (株) デジタル製オンラインアダプタ (CA4-ADPONL-01)、(株) デジタル製コネクタ端子台変換ア ダプタ (CA3-ADPTRM-01) および自作ケーブルを使用する場合

1:1 接続の場合



1:n 接続の場合



MEMO 接続の終端となる接続機器のディップスイッチ1を ON にして終端抵抗 (100Ω) を 挿入してください。

D.(株) デジタル製オンラインアダプタ (CA4-ADPONL-01) および自作ケーブルを使用する場合

1:1 接続の場合



1:n 接続の場合



MEMO 接続の終端となる接続機器のディップスイッチ1をONにして終端抵抗 (100Ω)を 挿入してください。

E. (株) デジタル製 COM ポート変換アダプタ (CA3-ADPCOM-01)、(株) デジタル製コネクタ端子台 変換アダプタ (CA3-ADPTRM-01) および自作ケーブルを使用する場合

1:1 接続の場合



1:n 接続の場合



 MEMO
 ・ 接続の終端となる接続機器のディップスイッチ1を ON にして終端抵抗 (100Ω) を 挿入してください。

F. 自作ケーブルを使用する場合

1:1 接続の場合





MEMO	•	接続の終端となる接続機器のディップスイッチ1を ON にして終端抵抗 (100Ω)を
		挿入してください。

6 使用可能デバイス

使用可能なデバイスアドレスの範囲を下表に示します。

6.1 H/EH-150/MICRO-EH シリーズ

□ はシステムデータエリアに指定できます。

デバイス	ビットアドレス	ワードアドレス	ダブルワード アドレス	32 bit	備考
外部入力	X00000-X05A95	WX0000- WX05A7	DX0000-DX05A6		1 2
外部出力	Y00000-Y05A95	WY0000- WY05A7	DY0000-DY05A6		2
リモート入力リレー	X10000-X49995	WX1000-WX4997	DX1000-DX4996		1 3
リモート出力リレー	Y10000-Y49995	WY1000-WY4997	DY1000-DY4996		3
内部出力	R000-R7BF	-	-		
特殊内部出力	R7C0-R7FF	-	-		
データエリア	M0000-M3FFF	WM000-WM3FF	DM000-DM3FE		
第 1 CPU リンク	L00000-L03FFF	WL0000-WL03FF	DL0000-DL03FE		
第 2 CPU リンク	L10000-L13FFF	WL1000-WL13FF	DL1000-DL13FE		
オンディレータイマ	TD0000 -TD1023	-	-		
シングルショットタイマ	SS0000-SS1023	-	-		
ウオッチドッグタイマ	WDT0000- WDT1023	-	-	[L / H]	
モノステーブルタイマ	MS0000-MS1023	-	-		
積算タイマ	TMR0000- TMR1023	-	-		
アップカウンタ	CU0000-CU2047	-	-		
リングカウンタ	RCU0000- RCU2047	-	-		
アップダウンカウンタ	CT0000-CT2047	-	-		
拡張タイマ	TM0000 - TM2047	-	-		
タイマ・カウンタ (経過値)	-	TC0000-TC2047	-		
 拡張タイマ (経過値)	-	TV0000 - TV2047	-		

次のページに続きます。

デバイス	ビットアドレス	ワードアドレス	ダブルワード アドレス	32 bit	備考
ワード内部出力	-	WR0000- WRC3FF	DR0000-DRC3FE		_{віt} F
特殊ワード内部出力	-	WRF000- WRF1FF	DRF000-DRF1FE	[L/H]	Bit F
ネットワークリンクエリア	-	WN0000- WN7FFF	DN0000-DN7FFE		Bit F

1 書込み不可

2 次のように指定します。

< 例 > 外部入力ユニット No.1、スロット No.2、モジュール内ビット No.34 の場合

X01234 モジュール内ビットNo. (00~95) 10進数 スロットNo. (0~A) 16進数 ユニットNo. (0~5)

< 例 > 外部入力ユニット No.1、スロット No.2、モジュール内ワード No.3 の場合

WX0<u>123</u>



3 次のように指定します。

< 例 > リモート外部入力リモートマスタ No.1、リモートスレーブ No.2、スロット No.3、モジュール 内ビット No.45 の場合

> X12345 モジュール内ビットNo. (0~95) スロットNo. (0~9) リモートスレーブNo. (0~9) リモートススタNo. (1~4)

< 例 > リモート外部入力リモートマスタ No.1、リモートスレーブ No.2、スロット No.3、モジュール 内ワード No.4 の場合

> WX1234 モジュール内ワードNo. (0~7) スロットNo. (0~9) リモートスレーブNo. (0~9) リモートススタNo. (1~4)

MEMO

 使用できるデバイスの種類、範囲は CPU によって異なる場合があります。ご使用に なられる前に、各 CPU のマニュアルでご確認ください。 CPU リンクを使用する場合のアドレス設定方法

「CPU リンクを使用」のチェックボックスを ON にします。

CPU リンクを使用する場合は、アドレスにループ番号とユニット番号が付加されます。

💣 アドレス入力(ワード)						>
接続機器 PLC1		_	_		_	_	T
▼ CPU リンクを使用	WR		•	0000)	_	
ループ番号 ユニット番	号	Ba	ack			С	lr
1 = / 0 =	/ A	В	С		7	8	9
	D	Е	F		4	5	6
					1	2	3
					0	E	nt
					0	E	nt

< 例 > ループ番号1、ユニット番号2の場合



MEMO ・ システムデータエリアについては GP-Pro EX リファレンスマニュアルを参照してください。

参照:GP-Pro EX リファレンスマニュアル「付録 1.4LS エリア (ダイレクトアクセス 方式専用)」

• 表中のアイコンについてはマニュアル表記上の注意を参照してください。

^{②デ}「表記のルール」

6.2 Web コントローラシリーズ

L はシステムデータエリアに指定できます。

デバイス	ビットアドレス	ワードアドレス	ダブルワード アドレス	32 bit	備考
外部入力	X0000-X0012 X1000-X1015 X2000-X2015 X3000-X3015 X4000-X4015	WX030-WX031 WX100-WX104 WX200-WX204 WX300-WX304 WX400-WX404	DX030 DX100-DX103 DX200-DX203 DX300-DX303 DX400-DX403		1
外部出力	Y0100-Y0109 Y1016-Y1031 Y2016-Y2031 Y3016-Y3031 Y4016-Y4031	WY40 WY105-WY107 WY205-WY207 WY305-WY307 WY405-WY407	DY105-DY106 DY205-DY206 DY305-DY306 DY405-DY406		
内部出力	R000-R7BF	-	-		
特殊内部出力	R7C0-R7FF	-	-		
データエリア	M0000-M3FFF	WM000-WM3FF	DM000-DM3FE	rL / Hi	
オンディレータイマ	TD000-TD255	-	-		2
シングルショットタイマ	SS000-SS255	-	-		2
アップカウンタ	CU000-CU255	-	-		2
アップダウンカウンタ	СТ000-СТ255	-	-		2 3
タイマ・カウンタ (経過値)	-	TC000-TC255	-		
ワード内部出力	-	WR0000- WRC3FF	DR0000-DRC3FE		4 <u>Bit</u> F
ワード特殊内部出力		WRF000- WRF1FF	DRF000-DRF1FE		Bit F

1 書込み不可

- 2 ラダープログラム上でそれぞれのタイマ、カウンタを定義する必要があります。
- 3 アップダウンカウンタアップ入力、アップダウンカウンタダウン入力は共に CT で指定しますが、接続機器でのデバイス名はそれぞれ CTU、CTD です。

CTU にアクセスする場合は、接続機器のラダープログラム上で該当のアドレスを CTU と定義しま す。同様に、CTD にアクセスする場合は、接続機器のラダープログラム上で該当のアドレスを CTD と定義します。

4 EH-WD10DR の場合、アドレス範囲は「WR0000-WR3FFF」、「DR0000-DR3FFE」です。

мемо	・ システムデータエリアについては GP-Pro EX リファレンスマニュアルを参照してく
	ださい。

- 参照 : GP-Pro EX リファレンスマニュアル「付録 1.4LS エリア (ダイレクトアクセス 方式専用)」
- 表中のアイコンについてはマニュアル表記上の注意を参照してください。

☞「表記のルール」

6.3 EHV シリーズ

□ はシステムデータエリアに指定できます。

デバイス	ビットアドレス	ワードアドレス	ダブルワード アドレス	32 bit	備考
外部入力	X00000-X05A95	WX0000- WX05A7	DX0000-DX05A6		1 2
外部出力	Y00000-Y05A95	WY0000- WY05A7	DY0000-DY05A6		2
リモート入力リレー	X10000-X45A95	WX1000- WX45A7	DX1000-DX45A6		1 3
リモート出力リレー	Y10000-Y45A95	WY1000- WY45A7	DY1000-DY45A6		3
拡張外部入力	EX00000- EX5A7FF	WEX0000- WEX5A7F	DEX0000- DEX5A7E		1
拡張外部出力	EY00000- EY5A7FF	WEY0000- WEY5A7F	DEY0000- DEY5A7E		
内部出力	R000-R7BF	-	-		
特殊内部出力	R7C0-RFFF	-	-		_
データエリア	M00000-M7FFFF	WM0000- WM7FFF	DM0000- DM7FFE		
第 1CPU リンク	L00000-L03FFF	WL0000-WL03FF	DL0000-DL03FE		
第 2CPU リンク	L10000-L13FFF	WL1000-WL13FF	DL1000-DL13FE		
第 3CPU リンク	L20000-L23FFF	WL2000-WL23FF	DL2000-DL23FE	[L / H]	
第 4CPU リンク	L30000-L33FFF	WL3000-WL33FF	DL3000-DL33FE		
第 5CPU リンク	L40000-L43FFF	WL4000-WL43FF	DL4000-DL43FE		
第 6CPU リンク	L50000-L53FFF	WL5000-WL53FF	DL5000-DL53FE		
第 7CPU リンク	L60000-L63FFF	WL6000-WL63FF	DL6000-DL63FE		
第 8CPU リンク	L70000-L73FFF	WL7000-WL73FF	DL7000-DL73FE		
オンディレータイマ	TD0000-TD2559	-	-		
オフディレータイマ	TDN0000- TDN2559	-	-		
シングルショットタイマ	SS0000-SS2559	-	-		
ウオッチドッグタイマ	WDT0000- WDT2559	-	-		
モノステーブルタイマ	MS0000-MS2559	-	-		
積算タイマ	TMR0000- TMR2559	-	-		
アップダウンカウンタ	CT000-CT511	-	-		
アップカウンタ	CU000-CU511	-	-		

デバイス	ビットアドレス	ワードアドレス	ダブルワード アドレス	32 bit	備考
リンクカウンタ	RCU000-RCU511	-	-		
タイマ・カウンタ (経過値)	-	TC0000-TC2559	-		
ワード内部出力	WR00000- WREFFFF	WR0000- WREFFF	DR0000-DREFFE	[L / H]	
特殊ワード内部出力	WRF000.0- WRFFFF.F	WRF000- WRFFFF	DRF000-DRFFFE		
データエリア	WN00000.0- WN1FFFF.F	WN00000- WN1FFFF	DN00000- DN1FFFE		

1 書込み不可

2 次のように指定します。

< 例 > 外部入力ユニット No.1、スロット No.2、モジュール内ビット No.34 の場合

< 例 > 外部入力ユニット No.1、スロット No.2、モジュール内ワード No.3 の場合

3 次のように指定します。

< 例 > リモート外部入力リモートマスタ No.1、リモートスレープ No.2、スロット No.3、モジュール 内ビット No.45 の場合



< 例 > リモート外部入力リモートマスタ No.1、リモートスレーブ No.2、スロット No.3、モジュール 内ワード No.4 の場合

CPU リンクを使用する場合

「CPU リンクを使用」のチェックボックスを ON にします。 CPU リンクを使用する場合は、アドレスにループ番号とユニット番号が付加されます。

🏄 アドレスブ	(カ(ワード)							2	×
接続機器	PLC1		_	_		_	_	•	ĺ
💌 OPU 🕫	/クを使用	WR		•	000)	_	_	j
ループ番号	ユニット番号		Ba	ack			C	lr	
1 3/	0 = 1/	Α	В	С		7	8	9	
,		D	Ε	F		4	5	6	
						1	2	3	
						0	E	nt	

< 例 > ループ番号1、ユニット番号2の場合



MEMO ・システムデータエリアについては GP-Pro EX リファレンスマニュアルを参照してください。

参照:GP-Pro EX リファレンスマニュアル「付録 1.4LS エリア (ダイレクトアクセス 方式専用)」

• 表中のアイコンについてはマニュアル表記上の注意を参照してください。

☞「表記のルール」

7 デバイスコードとアドレスコード

デバイスコードとアドレスコードはデータ表示器などのアドレスタイプで「デバイスタイプ&アドレス」を設定している場合に使用します。

7.1 H/EH-150/MICRO-EH シリーズ

デバイス	デバイス名	デバイスコード (HEX)	アドレスコード	
	Х	80	ワードアドレス	
外部入力	WX	80	ワードアドレス	
	DX	20	ワードアドレス	
	Y	Q 1	ワードアドレス	
外部出力	WY	01	ワードアドレス	
	DY	21	ワードアドレス	
	М	82	ワードアドレス	
データエリア	WM	82	ワードアドレス	
	DM	22	ワードアドレス	
	L	82	ワードアドレス	
CPU リンク	WL	63	ワードアドレス	
	DL	23	ワードアドレス	
タイマ・カウンタ (経過値)	TC	60	ワードアドレス	
拡張タイマ (経過値)	TV	61	ワードアドレス	
	WR	00	ワードアドレス	
	DR	24	ワードアドレス	
	WN	01	ワードアドレス	
ネットワークリンクエリア 	DN	25	ワードアドレス	

7.2 Web コントローラシリーズ

デバイス	デバイス名	デバイスコード (HEX)	アドレスコード	
	Х	80	ワードアドレス	
外部入力	WX	80	ワードアドレス	
	DX	20	ワードアドレス	
	Y	Q1	ワードアドレス	
外部出力	WY	01	ワードアドレス	
	DY	21	ワードアドレス	
	М	87	ワードアドレス	
データエリア	WM	82	ワードアドレス	
	DM	22	ワードアドレス	
タイマ・カウンタ(経過値)	TC	60	ワードアドレス	
 ワード内部出力	WR	00	ワードアドレス	
ワード特殊内部出力	DR	24	ワードアドレス	

7.3 EHV シリーズ

デバイス	デバイス名	デバイスコード (HEX)	アドレスコード	
	Х	80	ワードアドレス	
外部入力	WX	80	ワードアドレス	
	DX	20	ワードアドレス	
	Y	Q1	ワードアドレス	
外部出力	WY	81	ワードアドレス	
	DY	21	ワードアドレス	
	EX	84	ワードアドレス	
拡張外部入力	WEX	04	ワードアドレス	
	DEX	26	ワードアドレス	
	EY	95	ワードアドレス	
拡張外部出力	WEY	83	ワードアドレス	
	DEY	27	ワードアドレス	
	М	<u>0</u> 2	ワードアドレス	
データエリア	WM	82	ワードアドレス	
	DM	22	ワードアドレス	
	L	82	ワードアドレス	
CPU リンク	WL	83	ワードアドレス	
	DL	23	ワードアドレス	
	WR	00	ワードアドレス	
	DR	24	ワードアドレス	
	WN	01	ワードアドレス	
	DN	25	ワードアドレス	
タイマ • カウンタ (経過値)	TC	60	ワードアドレス	

8 エラーメッセージ

エラーメッセージは表示器の画面上に「番号:機器名:エラーメッセージ(エラー発生箇所)」のよう に表示されます。それぞれの内容は以下のとおりです。

項目	内容		
番号	エラー番号		
機器名	エラーが発生した接続機器の名称。接続機器名は GP-Pro EX で設定する接続機器 の名称です。(初期値 [PLC1])		
エラーメッセージ	発生したエラーに関するメッセージを表示します。		
エラー発生箇所	エラーが発生した接続機器の IP アドレスやデバイスアドレス、接続機器から受信したエラーコードを表示します。 MEMO • IP アドレスは「IP アドレス (10 進数): MAC アドレス (16 進数)」のように表示 されます。 • デバイスアドレスは「アドレス:デバイスアドレス」のように表示されます。 • 受信エラーコードは「16 進数[16 進]」のように表示されます。		

エラーメッセージの表示例

「RHAA035:PLC1: 書込み要求でエラー応答を受信しました (受信エラーコード :[02H,02H])」

MEMO	• 受信したエラーコードの詳細は、接続機器のマニュアルを参照してください。
	・ ドライバ共通のエラーメッセージについては「保守/トラブル解決ガイド」の「エ
	ラーが表示されたら (エラーコード一覧)」を参照してください。

ドライバ固有のエラーコード

エラーコードは分割された2バイトのコードとして送信されます。表示器は1バイトコードを使用してエラー番号を表示します。

<例>

リプライコマンド リターンコード エラー表示 01 07 01 07

エラーコード	説明
01, 05	要求されたポイントの数が指定の範囲外である
01, 06	指定されたデバイスが存在しない
01, 07	指定されたデバイスアドレスが範囲外である

MEMO

• 受信したエラーコードの詳細は、接続機器のマニュアルを参照してください。